…しめ先前砂や此浦舟に帆を上げ…は次第に進み行き今や金銀瑠璃の手管の玉もいと目出度小笠原流の三々をトン〳〵…むだ猫共の驚きたいんと矢庭に梯子…掛つて片ツ端から閻魔帳…く正眞正銘の花嫁にて其の因縁家…の判り見れば何れも手持無沙汰の至…を負はされて居たので驚いて取調べ…三分の鋭利なる刃物のあと…べきや否やに就…活動さうだ▲首相者引率の下に…閲覽する事となつた…ものは一定の日時を定め…

首相夫人の新調禮服 御大禮服服裝の御用を承はつて居るが聞く所に依ると首相大隈伯爵の夫人の夜會參列服には大枚▲千圓のレースが…

…ぬのを悲觀して自宅臺所の流し元にあつた深さ二尺の水甕に水を一杯張り半身を逆さに突込むで自殺を遂げた

…ひで初等教育に關する意見を交換したので教員共文相の平民的態度にすツかり參つて仕舞つて居る

京城日報

朝刊と合せて八頁

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾錢 (郵送料前金) 一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金三圓七拾錢 ▲郵券代用二割增

廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲朝報欄內一行金一圓 ▲三號活字一行金貳圓 ▲場所指定一行金三拾錢增 ▲六號活字の一行は二號活字同樣 一行は五號活字同樣の事

發行兼編輯人 奧田[illegible] 印刷人 [illegible]口政太郞 京城太平通一丁目

發行所 合資會社 京城日報社 電話 編輯 二四五番 營業 二二一番 長距離用 二六番 振替貯金口座京城三〇〇番

支那帝政問題

▲支那の懸念と辯明

支那官憲は一日の回答に對し日本の態度如何を氣遣ひ居るもの丶如く且つ回答の趣旨は決して勸告を拒絶したるものにあらず單に回答を發せるに止まれり帝政の事今日となりて中止するを得ざる境遇に在りと辯じつゝあり(北京特電)

▲局面展開策講究說

英露急がざるを看取す

英露側が回答に對する態度は勿論滿足せるものにあらざるもさりとて更に新たなる事實發生せざる限り此の上進んで勸告貫徹を急ぐの意なきは兩國人の言說を綜合するも知るを得べし殊に英國人間には支那が勸告一段落を告げたる機會に支那政府は何等か局面展開策を講ずべしとの說あり(北京特電)

列强大戰亂電報

▲塞耳維軍の總退却

塞耳維軍は南北よりする敵の壓迫の下に全然總退却をなしつゝあり退路はアルバニヤに通ずる只一條の道路あるのみ糧食の供給次第に困難となりつゝあり(倫敦電報)

▲羅馬尼內閣の總辭職

參政派暴動を起す

羅馬尼內閣は時局の難關を通過する能はざるもの丶如く全員辭表を提出せり國王の態度明かならず參戰派は暴動を起しつゝあり(倫敦電報)

◎山城艦進水式

大正二年十一月起工せる帝國海軍の新威力なる超弩級戰艦山城の進水式は三日午後一時橫須賀工廠に於て御名代伏見若宮博恭王殿下台臨の下に盛大に擧行せり同艦は長さ六百卅七呎幅九十四呎深さ五十一呎排水量三萬六百噸十四吋砲十二門六吋砲六門三吋砲以下十九門を搭載し其の乘組員實に一千二百人なりと(東京特電)

◎市役所開廳式

大連の官民六百名は三日午後大和ホテルに於て盛大なる市役所開廳式を擧行したり(大連特電)

◎北鮮除隊兵出發

北鮮各地駐屯各隊除隊兵千三百名は三日來淸四日志古丹丸にて內地へ向へり(淸津特電)

雜報

◎臺灣參列員

四日基隆より門司著香港丸は石井覆審法院長等御大典參列員多數及び臺灣土民代表參列者二名ありたり(門司特電)

◎朝鮮獻穀奉納濟

大嘗會庭積の机代物として朝鮮よりの獻穀は去月二十九日池邊秘書官より大禮使に提出獻納の手續を了したる旨其筋に通報ありたり

◎大嘗會御召品

大嘗會庭積の机代物として朝鮮より召させらるゝ明鮑百個、苹果、梨各十五顆、白栗五束は何れも四五日中に總督府へ到達す可く檢了次第職員携帶上洛の筈なり

◎道書記講習會

十月二十五日より臨時土地調査局分室に於て講習中なりし道府郡書記行政事務講習會は六日を以て終了し七日水原模範場を視察、八日會場に於て總督の訓示を受け閉會の筈なり因に受講者は庶務員五十一名、財務員二十四名合計七十五名なり

◎關稅定率改正

朝鮮關稅定率令中改正の件十一月五日附を以て公布せられ發布の日より施行さるゝことゝなれり

◎渡邊院長の出發期

高等法院長渡邊暢氏は御大禮參列の爲め隨員加茂書記を隨へ來六日午前八時三十分南大門驛發上洛す可し

◎各局長出發

持地、鈴木、兒玉、關屋の各局長並に小松翰長等は五日午前八時三十分南大門驛發汽車にて京都に向ふ

◎伊澤氏出發

滯京中なりし前警務總監伊澤多喜男氏は五日午前南大門驛發汽車にて北鮮地方觀察の途に上る

◎共進會殘務打合會

四日午前十時より總督府第一會議室に於て共進會事務委員打合會を開き持地、兒玉兩局長、山形大佐、荻田、青木、久芳、郡山各課長等參列、共進會殘務整理に關し種々打ち合せの上午前十一時散會したり

◎京畿貯蓄物品調査

京畿道管內に於ける加平、驪州、利川、廣州、龍仁、安城、振威、富川、江華、金浦、坡州、開城の十二郡のみが貯蓄現品を藏し居れるが最近の調査即ち本年七月末に於ける各貯蓄品高を聞くに籾三萬一千三百九石七斗六升餘米七百十六石八斗五升餘大麥六百九十八石二斗六升餘粟四斗餘大豆三石二斗餘小豆八升餘稗三石九斗餘玉蜀黍三斗三升餘繩一萬五千百七十二朶莚百五十二枚叺六個なりと

◎大典準備委員會

京城府にては四日午後一時より學校組合樓上に於て各町委員を召集し御大典奉祝準備に關する打合を爲したり

◎熊島燈臺工事進捗

遞信局の使用船光濟丸は目下鎭海灣口の熊島に於て燈臺建設中なるが同燈の竣工後は同港出入船舶に多大の利便を與ふるに至るべしと

◎敍任辭令

二日附を以て左の通り辭令ありたり

忠淸南道書記 北村健吉 任朝鮮總督府府事務官 敍高等官七等

◎大阪より

▲傭船料益暴騰

巴奈馬運河不通となり米國航路の船腹は一層不足を感ずるに至りし結果本邦貿易業者は既約輸出入品の運搬に支障を生じ止むを得ず自ら傭船して自家取扱品の運搬に充つるもの尠からざる爲め傭船料は近時益々暴騰して運賃採算以上の高値となり先頃迄重量噸一噸に付一箇月十二志內外なりしものが十二志六片の通り相場となり更に最近には辰馬汽船の千壽丸は十三志にて增田合名會社に傭入せられ料率の新記錄を作れるが船主の態度は益々强硬を加へつゝあるが故に十四五志の實地取引を見るも遠からざるべしと

▲鐵材市價奔騰

當地の鐵材市況は米國輸入既約品が巴奈馬運河不通の結果豫想外の積出遲延を見る事となり又米國に於る鐵材相場自體が最近益々强硬を報せる爲め元來が在品薄の折柄先物供給拂底の氣構へなるに對し需要向に於ては內地諸工業の振起と共に輓近に至り建築用其他の需用漸く旺盛せんとする傾向あり旁兩三日來頓に買人氣を煽り十貫目に七八圓方の暴騰を演じ棒鐵類平均相場六十二三圓の珍高値を招けりと(大阪)

金剛山口占 蘇峰生

德富蘇峰先生が過般金剛山探勝の際途中邂逅せし槐園鮎貝房之進氏に宛て此程東京より金剛山口占三句を寄せ來りしより槐園氏は更に之れを雲養金允植先生に示したるに又た左の和韻三句をよせたり

淵〇幽〇水〇石〇谷〇飛〇揚、奇〇峰〇排〇雲〇列〇劍〇鋏、
客〇費〇入〇開〇彫〇納〇筆、請〇看〇造〇化〇大〇文〇章」
紫〇府〇身〇似〇入〇氷〇壺、絶〇壁〇當〇前〇欲〇路〇無、
飛〇瀑〇爲〇霓〇堅〇爲〇硯、描〇來〇紅〇葉〇白〇雲〇圖」
霜〇堅〇秋〇酣〇紅〇映〇黄、簡〇成〇大〇斧〇是〇金〇剛、
不〇將〇筆〇墨〇添〇奇〇勝、故〇放〇山〇靈〇獨〇擅〇場」

次韻奉和蘇峰先生金剛三截句 雲養 金允植

名〇區〇自〇古〇進〇人〇揚、神〇物〇千〇秋〇合〇劍〇鋏、
昔〇日〇元〇和〇今〇德〇富、洞〇天〇有〇主〇好〇文〇章」
晃〇朗〇身〇如〇入〇鏡〇壺、塵〇埃〇到〇此〇一〇點〇無、
萬〇千〇奇〇怪〇非〇々〇想、活〇看〇眞〇形〇五〇嶽〇圖」
秋〇暮〇千〇山〇木〇葉〇黄、遊〇節〇更〇向〇海〇金〇剛、
森〇々〇石〇角〇如〇幡〇塔、好〇道〇魚〇龍〇作〇道〇場」

▲輸出激增の反動

近來輸出激增の結果外國市場に本邦品の供給過剩となりて在品停滯を報ずるもの尠からず印度各市場に於ける本邦製燐寸セメント茶箱の類は正に其の尤なるものにして是等は孰れも目下既約品の積止めを見つゝあるもの多く就中セメントは孟買カルカッタ等に素人筋の輸出多かりし結果品間への矢先き內地にては此程內國需要の恢復により製造會社値上協約ありし爲め新規輸出手合も多く値段不折合となり輸出の一頓挫を招けりと

人事消息

▲安住時太郞氏(辯護士) 四日朝歸京

▲牧山榮樹氏(高等法院判事) 有位者總代として御大典參列の爲め六日午前八時三十分南大門發上洛の筈

▲河谷弘氏(龍山中學校分校幹事) 四日午後內地より歸京

▲ボボスキー氏(京城露國領事) 四日午前內地より歸任

▲上林敬次郞氏(山林課長) 御大典參列の爲め四日朝出發上洛

▲伊藤少將(三十一旅團長) 四日朝平壤へ歸任

▲鈴木有鄰氏(海州憲兵隊附一等主計) 三日歸任

▲古賀唐藏氏(日本膠工株式會社長) 三日入京淸光舘へ

▲小川運平氏(總督府技師) 三日出發平壤へ

▲若城竹治氏(木浦郵便局長) 三日出發歸任

南言北語

イヤ其の樣な御心配には及びませぬ騷亂などは決して起る氣遣ひはありませぬから御勸告は有り難くお熨斗をつけてお謝絶申しますとヤンワリ撥ね付けて來た▲ヘン不用お世話だいは小癪に觸らざるを得ないが試驗的に先づ一回は拒絶して見やうなんて云ふ手管なら大に此方の面目玉を蹴飛ばした譯だ▲ナニ其の樣な事はない、イヤ其うは云はされ、日支條約の時を見ても判り切つて居る此の樣な事は支那外交の得意の手だからナア浮か〳〵すると引つかゝるよ▲何と云つても支那に帝政を思ひ切らすことは駄目だ道樂息に幾何道樂を廢めよと云つたつて廢らるゝものではない無理に止めようとすれば自暴を起すから禁治產の宣告でもするに限る差し當り後見長は日本かね▲獨逸が媾和を提案するとか英國の大軍が巴爾幹に上陸するとか云つて居る間に塞軍は三面合擊を受けて總退却をして居る▲而も退路はアルバニヤへの唯一路とは如何にも心細い▲之れで獨墺勃の聯合軍は南下して英佛伊の聯合軍と一戰に雌雄を決するのだらうがさうするとビューロー公の媾和案も又たヒュードロ〳〵だらう▲獨逸は筆の先で蛇でも突付く樣に恐ろ〳〵米國や支那で日本に邪魔をして居る▲米紙エキザミナーが遂に日本は白人共同の敵だなどゝ云ひ出したは例の獨逸の筆の先だ▲支那でも獨逸公使が大分帝政などを煽つて居る▲其の筆先に引つ懸つたものこそ好い面の皮だが引つ懸り相になつて居るものがあるから可笑

京城學校組合告示第三十一號

一金五十圓

右者京城本町二丁目吉本泰殿同壽殿ヨリ父死去ノ際各位ヨリ寄贈セラレタル香料ノ返禮ニ代ユル旨ヲ以テ前記ノ通リ京城學校組合特別基本財產ノ內ヘ寄附セラレタリ

大正四年十一月二日 朝鮮總督府府尹 金谷充

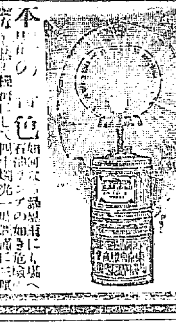
一、輕便軌條用附屬フイッシュプレート外貳點

右賣買ス詳細ハ十一月三日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

朝鮮總督府

◎革命起る

全燈明界を革命すべきミネラルライト



本品の特色 [illegible]

定價金參圓五拾錢

宮腰商會

御大典奉祝

の祝盃は最古の歷史を有する目出度

※澤之鶴に限る

京城本町一丁目 佐藤牧商店 電話一二九番

兩陛下御尊影進呈

御即位の大典を祝し奉り、會員と慶びを共にせん爲め、此際入會者に限り本會謹製の 兩陛下御尊影を無料頒布す。印刷、用紙、體裁等悉く優良、御大典當日、戶々に奉揭するに最もふさはしきもの也。

▣中學校に入らずして中學全科を修了し將來立身成功せんとせば、本會の中學講義錄に就いて學べ。本會の講義錄は懇切平明、會費は低廉、卒業期短く、獨習に最も便也。卒業後學資貸附其の他の大特典あり。

今回の入會者に限り 兩陛下御尊影進呈の外各種大特典あり 入會あれ迅速に 講義見本つき規則書無料進呈す

大日本國民中學會

東京神田駿河臺 電話本局 三〇〇二 三〇〇四 三七〇七

電氣界の名著 空前の大好評

遞信省技師 工學士 若日田利助氏
遞信省技師 工學士 高津清氏 共編

電氣工學ポケットブック

▣全一冊縱五寸・橫三寸・厚二寸(六號活字)總皮金版美裝釘
▣紙數千九百十六頁……挿圖千二百四十二箇

忽ち三版發行

五千部限り 特價金四圓……內地書留送料金十八錢 滿韓臺樺送料金四十錢 (正價五圓) (特價部數盡くる時は即日正價に復す)

▣本書は。編者が滿三ケ年間の苦心にて完成したるものなり。其內容は。日本文にて電氣工學全般の粹を網羅せり。徒に表數字等の陳列に止まらず、或る程度まで說明を加へ特に挿圖を多くせる、電氣技術家座右必備の良著也。

▣本書は。亦、電氣專業主任技術者資格三級、四級受驗者諸君の其受驗準備に當り參考と研究に不可缺點學の寶典也。

內容目次大略

1 電氣及磁氣測定并電氣測定器 百七十四頁 挿圖百七十九
2 電池 七十三頁 挿圖二十五
3 電信 百六十五頁 挿圖九十七
4 電話 二百三十五頁 挿圖百六十一
5 無線電信電話 七十二頁 挿圖六十五
6 電力輸送及配電 百三十三頁 挿圖六十一
7 發電所 二百七十九頁 挿圖百七十二
8 直流發電機及電動機 七十三頁 挿圖五十七
9 交流發電機、電動機及變壓器 百七十七頁 挿圖百三十八
10 電氣鐵道 百八十九頁 挿圖百四十六
11 電燈及照明 百五十七頁 挿圖六十八
12 電氣及磁氣 百頁 挿圖七十
13 電氣用材料 五十三頁
附錄 三十四頁 挿圖三 (終)

發行所 東京市京橋區南槙町十三番地 工業書肆 建築書院 振替口座(東京)九四一八 電話京橋四七七

革新と擴張

大日本文明協會

會長 伯爵 大隈重信
編輯長 法學博士 浮田和民
理事長 市島謙吉

(顧問)(編輯) 井上(哲)、石川、新渡戶、和田垣、橫山、高田、坪內、上田(萬)、內田、眞野、宮田、荒木、天野、淺野、阪田、佐野、三宅、塩澤、關、十九博士、川合、嘉納、澤田、原田、志賀五大家

創設以來七年有半國際的學術普及機關として我學界に多大の功績を齎せる本會は今や時局に鑑み 今上陛下御大典奉祝記念事業として根本より組織を一變し永久的發展の計畫を立て玆に之れを發表するの機會に到達せり即ち今後一層有用なる基礎の上に益々世界的智識を普及し文明國民に日新必須の精神的糧食を供給し以て進步的社會教育の任に當らんことを期す。有志の士速かに來つて本會に就け!

新計畫發表―入會至便―會費低廉― 此際入會者に特典あり

詳細會則にあり 篤學の士及び一般修養を志する國民は至急新會則を請求あれ(無料送呈)

東京市麴町區元園町一丁目二十二番地 大日本文明協會事務所 振替口座東京二一八九〇番 電話番町三四五二番

家庭の奉祝

御大典奉祝の儀に就き公人としての自分は部員一同と共に十日の午後三時本司令部の樓上に於て此程下賜されたる御眞影に對して拜賀の式を行ひ夫より五箇條の勅諭を奉讀し更に後方の小山の上を掃き潔めて注連を張り祭壇を築いて三時半ともなれば京都の方向に向つて萬歲を三唱し大儀を奉祝するに決まつて居るが更に家庭に於ても當日官舍の表座敷を淸め

家族一同此處に參集して**兩陛下の御尊影を奉安し萬歲を唱へ**奉祝の意を表したいと思ふ又京城府の催にかゝる景福宮の奉祝會へも家族の者を出させたいと考へて居るが此樣な國家の大祝典に際しては國民の全部が擧つて祝意を表するは勿論であるが其れ等の人々が一堂の下に集合して祝意を共にすると云ふことは一層良いことであつて宜しく京城府民は

一人も殘らず萬障を排して此奉祝會に參加す可きものであらうと思ふ續て開催さるゝ提灯行列の樣な催物にも是非全部の人が出揃つて一齊に奉祝しなければならぬが其行列とても從來の樣に廣告本意のものは絕對に避けて雌靜肅に而かも謹嚴に行ひたいと思ふ要するに何れの催しにもせよ御大典に對する吾等臣民が奉祝の赤誠を表するに外ならぬのであるからして其心を以て之れに臨みたいと希望する次第である=山形憲兵大佐談

紅葉狩の椿事

紅家の光枝、顏に重傷を負ふ 落花狼藉の碧蹄館街道

三日午後三時半、京城を距る凡そ三里半の地、高陽と高把撥里の中間、梧翠里に於て

▲**碧蹄館に紅葉狩**に行つた黃金町一丁目京城自働車商會自働車第二號が竹添町フレザー商會内田弘(二七)の運轉にて歸途中自働車轉覆し、搭乘中の藝者三名負傷せる椿事あり、一名は重傷で目下和田

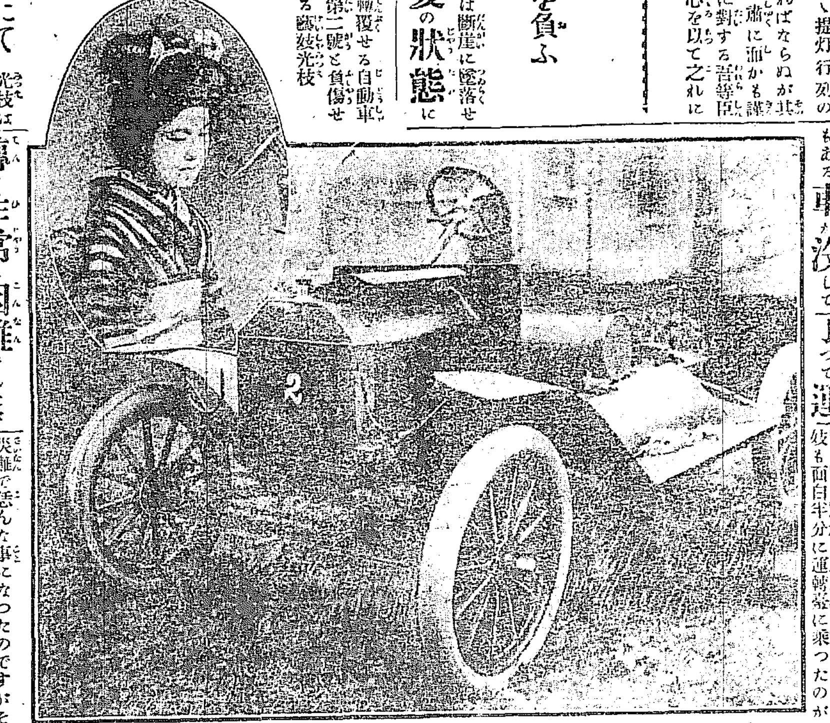
病院に入院中である、三日午前十時旭町三丁目櫓屋紅家にからす丸の名で電話が掛つて光枝、ト一、はるな、正次の四美人が呼ばれた、呼んだ主は黃金町の京城自動車商會で同商會店員慰勞會に列つたお客は主人李容汶氏支配人荻尾末吉君以下二人と竹添町フレザー商會の事務員高瀨榮二、運轉手長島清太郞、内田弘の三名と都合七人、興酣なる頃自動車に乘つた事の無い

▲**美人連の强請に** 機嫌斜ならぬ運轉手連、御意はよしと早速京城自動車商會の二號に乘つて碧蹄館にと志したり時に十二時、別にフレザー商會の自動車も試運轉の爲に尾行して一部は之れに分乘したり

腕自慢の連中 交代に把手を執つて愉快に碧蹄館に二時頃著一時間餘を秋の郊外に面白可笑しく遊んで三時出發歸途についた、所が碧蹄館から一里も歸つたと思ふ頃、右側は小川の斷崖、左は山につゞく絕壁、その下り坂を勢ひ込んで走る折しも道邊に砂の積れてゐたに車輪が喰ひ込み一歩過れば斷崖に墜落せん

危機一髮の狀態に陷つた、此時恰も運轉中であつた運轉手内田弘は此樣を見て逆に左に自動車を轉覆せしめて危險を避けた爲めに乘合せてゐた藝者光枝、はるな、ト一首め一同はあつと云ふ間も無く地に投り出され風避

▲**硝子の破片にて** 光枝は左頰と頭部に負傷し、はるな、ト一は**顏面と左手に擦傷を**負ふた騷ぎに一同今までの酒興は何處へやら大狼狽となり、幸ひ自動車には大破損が無かつたのと、試運轉の爲め同行した自動車があつたので之れに分乘歸京の上負傷者は一同明治町和田病院に赴き加療したが光枝は左頰は三針、頭部は二針を縫ひ同院に入院療養中である



輾覆せる自動車第二號と負傷せる藝妓光枝

呪れた二號 運轉手審さに當時の狀況を語る

別項紅家の藝妓四名を乘せて碧蹄館に往復の途中誤まつて顚覆せしめ負傷者を出した

▲**自動車を運轉**して居た者を訪て當時の模樣を質して見た『自動車は京城自動車商會所有のものですが顚覆の時に大した破損はありません(傍らに挨除け硝子の破毀せる二號と記せる自動車あり)實は共進會も濟んだので慰勞會を開く事になり京城自動車商會が主催になつて小宴を開いた末同商會から車を出して

▲**藝妓が四人と** 吾々三人の都合七人が乘り三日の正午少し前私共の所に寄つて出たんですそして二時間ばかりかゝつて碧蹄館に著いて附近を見物した末三時半頃同所を出で一里ばかり來ると約一丁ばかりの間道路が砂路になつてゐる五寸以上もある

車が沒して了つて運轉が非常に困難でしたがそれでも除行しながら進んで行くと愈々砂路深く喰ひ入つて把手が利かなくなつたので

▲**呀と思ふ内に** 路端の一間ばかりの所に墜落しさうになつたのでソラ大變と思ひながらも早速**把手を捻つて轉覆**させて終つたのですが**機轉で落ちる**よりはその機みを喰つて運轉手の破片で顏に怪我をしたのです外にも少しは擦傷は負うた者もあつたが大した事はなかつたのです、藝妓連中が碧蹄館に行きたいといひ出し自分達で線香は持つと言ふのでそれでは出掛けたので吾々は何れも

▲**免狀は持つて** 居り交る交るに運轉したのです、怪我をした藝妓も面白半分に運轉臺に乘つたのが災難で恁んな事になつたのですがそれでなければ皆無事だつたのです、此の位の故障は時々ありますよ』と何れも二號車を解いて掃除に餘念ない樣子だつた

俺を殺しても女は浮ばぬ

龍雲法廷にて自ら無期懲役を主張 大惡人の靈魂不滅論 餘件の犯罪事實を手に取る如く明瞭に答へた

强姦强盜等有ゆる猛惡なる兇行をなし一世を恐怖せしめたる大米龍雲の公判は三日午後三時より東京地方裁判所に於て開廷さる是より先き**數百名の傍聽人**押しかけ數名の巡査の應援にて辛うじて無事なるを得たり開廷と共に裁判長は一々事實の審問を行ひたるに龍雲は『事實です其通りです』と答へ二十餘件の犯罪事實を手に取る如く明瞭に答へたり尋いで辯護士の辯論終りて裁判長は何か言ひ度い事なきやと言へば彼は靈魂不滅論を說き『私を殺しても自分が殺した女人は決して浮べるものでない自分が世の中へ出れば殺した人達の供養も出來る**肉體を殺しても靈魂は滅びぬ、**下手に自分が無期懲役にでもなつて居れば必ず其靈魂を浮ばせる事が出來る』と述べ自ら無期を主張したり言渡しは八日午前九時開廷の筈にて同五時閉廷せり(東京特電)

須磨子來る

島村抱月氏松井須磨子の一行は近く下關より乘船歸來し須磨子一行は下關一泊五日渡鮮二十日の豫定にて滿鮮巡業の筈(門司特電)

大不夜城

御大典で景氣附て來た大阪

御大典いよ〱切迫したれば大阪市の奉祝施設は各方面とも大に進捗しつゝあり中の島劍先に於ける新らしき難波橋には大阪電燈會社にて意匠を凝らしたる裝飾を施すべく

▲**一大高樓** 建築中なるが近く竣成する同樓の外部には多數の電光を以て彩り橋上にも別に相當の設備をなして一大壯觀を呈さるゝ想像以上なるべし殊に高樓の高さは八十尺とし其頂には大阪市より海軍省に申請したる結果鎭守府より到著したる一萬五千燭の光を放つ探照燈を備へ付け電燈會社は之に莫大なる電力を供給して夜間大阪市中を照す計畫なりと而して

▲**天神橋に** は大阪市にて電氣飾を施し兩橋相並で秋の川面に光を擲ちて光景いはんかたなかるべし尙大阪電燈にては府に出願して日本橋其他數個の橋に其々裝飾を凝し此の外淀屋橋大江橋等も電氣裝飾を見る筈なれば全部殆んど不夜城の光景を呈するならん又各町に於ては其々奉祝の計畫ありて早きは既に花やかに裝飾したり(大阪支局)

末期の水は好物の銘酒

先代出羽海逝く

巽の横綱常陸山の師匠にして養父なる先代出羽の海谷右衛門は本年七月中心臟病に腎臟病を併發して本所相生町三丁目の部屋に療養中遂に一日午前九時卅分死亡したり行年六十六歲同人は茨城縣水戶市肴町の出生にて

▲**廿一歲の時** 力士を志し東京に出で先々代入間川浩太夫の門下となり初め櫻川後常陸山虎吉と名乘り累進して明治十五年幕の内に入り相撲の技はさして巧者ならざりしも天性非常の大力の爲め泉川等の强引の手を得意として屢々大敵を破りたり性來頗る酒を好みて壯年時代は時に七升位の大酒を呷りしこともあり

▲**老後に及び** ても病の床に臥すまでは日々一升五合づゝの酒を絕やさず臨終の際も今の出羽の海始め一家一門の者等に手厚き看護を受けつゝ末期の水に吸香の酒を口にしつゝ眠るが如く往生せりと

臺灣土民代表者感謝す

御大典に參列する臺灣土民代表者は臺北、臺中、臺南より三名、三百四十萬の土民を代表し御大典に參列することを得無上の光榮と 陛下の御恩澤とを感謝し居れり(門司特電)

明年の暦=勤人の當り年

京城に月蝕がある

大正五年の新暦はいよ〱一日から發賣始めた來年は閏で二月廿九日本暦には大なる變りはないが只略本暦では從來四代前迄の天皇祭が單に祭式によつて『何々天皇例祭』とあつたのが新暦では皇室祭祀令の改められた爲め昭憲皇太后例祭が加へられ又來年から四月十一日の昭憲皇太后例祭に相當するので特に記されてある、更に來年は恰も神武天皇二千五百年式年祭に相當し異つてゐるのは略本暦の最後に寬政六年以來の

▲**種蒔季節を加へ** られた事で主要作物播種の時期を各府の季節に從つて配列し、稗、粟、大小豆の八種を名附の季節に從つて掲げられてある、又來年は十二月三十日の明治天皇祭と日曜が重なる他一月一日は四方拜、二日は日曜、三日元始祭、二月は十一日の紀元節が金曜で土曜を間に十三日が日曜、三月は十九日が日曜、一日隔いて廿一日が春季皇靈祭四月は二日が日曜で三日が神武天皇二千五百年式年祭九月は廿三日が秋季皇靈祭で廿四日が日曜十月は十五日が日曜で一日を隔き十七日が神嘗祭廿九日が日曜で同じく三十一日が天長節祝日で勤人の當り年である又

▲**來年は珍らしく** 六月一日が舊暦朔日、七月十五日が滿月である 月蝕は一月二十日京城、那覇、釜山、長崎、京都は月帶蝕、東京、札幌、大泊は普通の月蝕であるが極めて僅なもので時刻は午後四時五十五分右の間より虧け初め五時廿九分右の間より虧け初め五時卅九分右の間より虧け初め五時廿四分にて終る 下に甚だしく六時廿四分にて終る

秋の運動界

三 運動獎勵者

◎元安田會社の武者共つて同社庭球部の比較的振はざる、三越の由比大迫に嗜して以來同店の倉庫にラケット及バットの深く藏さるゝに至りたる、總督府の出戶庭球部より殘近入城、野上にはコートの渊しき又以て揭導者の有無に由りての盛衰の度合の大なるを知るに足るものがある

◎多くの運動家を有し曾ては東都に雄名を馳せられたる一流選手を有するに不拘東拓、鮮銀、其他の銀行會社の當に振はざる之れ其運動家の趣味を漸く變じて他に移らんとしつゝある一方その銀行會社の幹部に運動獎勵者の出ない所にある、中には奬勵するは措て選手を貶み陳ずる重役ありと云ふに至つては又何をか云はんや

◎予は運動の効果を今更に喋々せんとするものにあらざるも、鐵道の能く運動を奬勵して好成績を收めつゝあるに鑑み各團體の幹部は大いに社員に之れを奬勵し隆々として健全なる運動を排して男性的の氣風を養はしむるに意を注がん事を切望するものである(庭球狂生)

◎毎年春秋二回に開かるゝ全鮮庭球大會が年中行事の一となつて居ると同時に鮮鐵の庭球社會も年中行事の一つとしたい、殊に鮮銀殖銀共庭球には各外の力瘤を入れ幹部に於ても盆々其發展を期し有形無形の後援を與へつゝあるのは我運動界の爲めに多とせねばならぬ所である

◎鮮鐵部には樋井、黑澤、和田、山田、鷲尾など自らラケットを握つて後進を獎勵せしめつゝある諸氏あり小城、安藤の兩氏は庭球部の伊藤氏の如きも我庭球界の爲めに援助さるゝ所が多い全鮮を通じて鐵道の庭球部が常に天下に覇を稱して居るのも又斯る後援者を有するからである

御大典と市中の店頭裝飾

思ひ〱の趣向

御大典間近くなつた本町通の景氣は共進會の賑ひに次いで相變らず盛んである、其の各戶に樹てられたる高張提燈も

■**紅白青の彩旗** もとりどりに街の景氣を引立てゝ居るが又軒の裝飾您も著しく冬の商品で飾り立てられて來た、就中特に行人の注意を惹くのは各店共御大典奉祝に因んだ意匠で店頭を飾りつゝあることで、これには有繋に各自の苦心のあとが見えて感服されるものが尠くない、其の中特に人目を惹くのは本町二丁目の菓子商寒水堂で

■**黃白大輪の菊** 花一輪咲を陳列してあるのと茶舖の青々園で紺白の大輪菊花に倫の名物『南山』と茶器を飾りたる陳列である、次に丸山の社隣の露西亞物產專賣の青木商會では萬歲旛の下に露西亞の紅茶を並べ他に店で造る露西亞職人の

■**露西亞菓子を** 飾つてゐる又お向の鉢屋は毛メリヤスシャツ襟飾を並べお隣の篠崎文具店は菊花の鉢にインキ、萬年筆の裝飾、次で小間物店松菊屋では御大典記念の女頭髮用、羅馬留め、中差、リボン等で美しい鳳凰を捺らへなか〱凝つた陳列法を示し又森家具商では奉祝の二字を包むだ花環に

■**國旗を飾ざり** 明治屋はさつぱりした陶器を、日の丸小間物屋は半襟の衡立、辻屋洋品店では大典記念新流行のショール、三中井吳服店では婦人の帶で作つた鳳凰に八咫烏を織つた羽織の肩裏などを陳列してゐる、又愈々御大典間近くなれば各店共素晴らしい裝飾で奉祝の意を表しますとて昨今主人始め番頭さんに至る迄意匠の考案に苦心中である

●信管註文引受 金額千八百

天氣 十一月五日 曇一時晴

日出 七時 日入 五時三十四分

太陽 十一月號

要目 定價三十錢 郵税三錢

大浦氏と加藤男の進退……淺田江村
▽乃木事件に關する法律問題……岸博士
▽國民黨(政黨史論)……復面子
大浦問題と刑事政策……仲小路廉
大浦氏不起訴事件……中島博士
▽支那の國體變更と日本の帝政論……副島博士
▽覺心於語(婦人界評論)……與謝野晶子
英國戰時財力の將來……堀江博士
新大學令案に對する批評……浮田博士
文展及び二科會評……專門諸家
▽政府直營の展覽會(美術問題)……岩村透
▽日本畫縱横觀……中川忠順
畫のシーズン(片寄の窓より)……內田魯庵
現今の俳句界……高濱虛子
▽現代の藝術的意識(文藝評論)……木上杢太郞
▽手紙四つ……武者小路實篤
戯曲 おまん源五兵衞……吉井勇

生活

日本人向の新食物……[illegible]
▽女學校の『無能』に就て……麻生正藏
▽路傍で裸になる男優女優……永代靜雄
▽旅館が擧國禁酒の結果……村田榮子
配偶を選擇する場合……吉田博士、田山花袋、福澤桃介其他の諸氏
全國各地の女の特色を評說す
金持が銀行を通じて蓄積する富
▽手相のみで運動は判斷出來ぬ
▽連鎖劇が人氣を集むる理由
直接間接を廢す同盟組合

東京本町 博文館

◎最も權威ある責任保險付萬年筆特價提供

◎クレセント萬年筆の名譽は汎く人の知る處イルジューム付十四金ペンは永久不滅的にインキ止め裝置は頗る完全にしてインキ洩出の憂なく他品より優越したる事を斷言す

販路擴張の爲め大々的特價提供

▲御注文者は此の新聞切抜き直ちに御申越を乞ふ

六號	インキ止め裝置クリップ付	特價金壹圓六拾錢
四號	同品にて中軸銀飾付	同 金武圓五拾錢
二號	同品にて大軸	同 金參圓五拾錢
三號	自動吸入式インキ止クリップ付	同 金參圓也
一號	同品に九金飾付	同 金五圓也

AABBB 右之外二圓以上十二圓迄種々有之候
物品賠求從不工合の場合は責任を以て良品と交換す
前金送料無料引替小包内地廿錢新領土は四十錢申受く

クレセント萬年筆 大阪賣所 東京市芝區烏森町一番地 小柳商店 電話新橋二六六二 振替口座東京三一八四三番

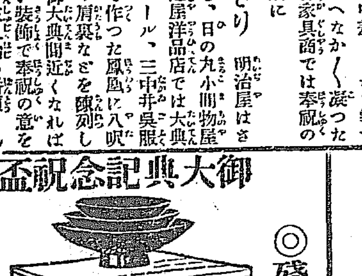
移轉御披露

謹啓先般來市區改正の爲家屋取壞し左記場所へ改築中の處今般落成と同時に移轉仕り從前の通り營業致候間舊に倍し御披露申上候 敬具

十月三十日

京城黃金町二丁目(電話一〇一五番) 時計商 喜多金光堂 振替口座七八二番

御大典記念祝盃



◎殘餘少なし 此際至急申込あれ◎

三ツ組桐箱入

大	直徑	四寸
中	直徑	三寸五分
小	直徑	三寸

朱塗金縁金蒔繪鳳凰紋麟八咫御鏡 記念文字入

品質保險付

右は壹千組限り實費金壹圓武拾錢(送料荷造費共)にて分讓可致候間御望みの方は御申越次第引替小包にて御送附可仕候

京城仁川濱町 京日仁川代理部 電話二四〇番

……府當用の四百萬個の注文を……此の契約は……博士の立會の下に引受け……の約束を爲したる由從つて同組合に……の此の始末は適切り甘い酢を吹へ……取り調べ見れば甑いたり此は全……個……十五個見當な……れば四百萬個總體にては優に千八百……

……午後四時五十分頃釜山起點七十五哩進行中の汽車から二日……中知らぬ間に顏に一文字長さ一寸深……龜和方居住の指革井相作(……)……ものにして同人は當日密陽より清道……

……しても不思議な事だ▲活動寫眞が問……小倉市では各學生に於……

▲選居賣横領 東京府下葛……藤を始め綠町遊廓二丁目朝日亭の藝……にチョイ〳〵集金を胡麻化し居たるが金の自由になる所より遂に放……事發覺し主人より横領の告訴を起され目下其筋にて取調中

失敗せる愛川村

關東州農村は竟に沒落か

關東州內に於ける日本農民移植の嚆矢として又その日本村建設の模範として當時世人に多大の注意を惹起せしめたる金州大魏屯の農村愛川村は……致したる農民十九戸の內早くも落伍者を生じ一戸去り二戸乃至三戸去り漸次本國原籍地に引揚ぐる者ありて其數既に七戸に及び現在は十二戸を存すのみとなりたるが此の十二戸の內より尚ほ十戸程は近く原籍地に歸還することに決したれば結局殘す所は僅に二戸に過ぎざる始末にて此の最後のものも或は又引揚ぐるに至るやも知れず此の農村建設を計畫したる都督府にては頗る之を遺憾とし種々の方法を講じ日本農民をして成るべく

▲踏止まらしめん と努めつゝあれど元來彼等農民は世の謂ゆる中產農民にして近時次第に衰頽し來れる日本內地の農村においても相當の生活を爲し居たるものにて關東州に招致せらるゝや一家を携へ此處に移住する以上內地に居るよりも收入增加し且つ萬事において種々の利便あるべしと豫想せられし爲め之を樂みに來滿し而して金州大魏家屯に移住せしところ滿目荒涼甚だ寂寞を感ずるのみならず豫想の如き利益も得難く冬季は殆んど蟄伏の外なく寧ろ內地に在りし時よりも何かにつけ不利不便を感ずる事多きより人情の常として忽ち厭氣を生じ飽まで困難を冒して進むといふ決心も起らず偕こそ當局の苦心勸說に耳を假すの餘裕もなく漸次原籍地に向け歸還し又は歸還せんとするに至りたる次第にて彼等の情狀は酌量すべき點あるも斯る薄志弱行者流にては滿洲に日本村を建設せんと思ひも寄らず今や都督府にても愛憎をつかし諦め居る程なりといへば折角建設しかけし

▲愛川村も遂に 滅亡の不幸を見んも知るべからず尤も都督府として失敗の結果全く之を放棄するが如き事も出來まじく近來はその補充策として在滿邦人の中より農業に篤志のものを募り之を以て愛川村の農業を繼續せしめんと企て居るも志望者極めて少なく此の補充策も果して成功するや否や今日のところ疑問とせられつゝあり若し不幸にして愛川村の全滅沒落を見んか延いて滿洲全體における農民移殖の上に悲むべき影響を及ぼすの虞あり幸ひ公主嶺附近における滿鐵の農村經營が不充分なるも多少の成績を擧げ居る爲め稍々人意を强うするに足るものあるも此の金州大魏屯における都督府の農村經營失敗は滿洲の農民移殖に種々の教訓を與ふるものなしとせず東北邊の下層農民を保護して之を移植するにおいては窮乏に馴れたる彼等の事とて移住土著の決心をなすに至るやも知れざれど此の保護移民は經費及び方法に深く研究を要するものあり都督府にても此の苦しき經驗に鑑み更に熟考を要するものと認め居るが如し(大連)

木浦米界打擊

新米の廻著期に入り一般米界漸く繁忙ならんとする際全南精米界の權威たる木村精米所の燒失は米界に至大の打擊を與ふること勿論なるが之に對し某當業者は語つて曰く木村精米所は福田精米所と共に實に全南精米界の覇者にして進んで全北金堤を侵し苗浦に出で能く群山に對抗したる奮闘は吾人の常に推服したる處なりしに一朝祝融子の爲めに烏有に歸したるは誠に遺憾に堪へず自然之が恢復までには木浦の米況に影響を及ぼし移出數量の如き一時或は減少を見るべきも唯森田精米所新たに成り太田精米所亦已に作業を開始せるあり幸ひに商勢を保持するを得んか兎に角木村氏の爲めのみならず木浦の爲め將た全南の爲痛惜に堪へず(全南支局)

畜牛凍死豫防

平南にては年々畜牛の凍死するもの數百頭を算し是等は全く平素飼牛者の注意を缺ぎたるに起因するものにして當局に於ては鋭意之れが豫防を指導し居れるが最近孟山郡より其筋に達せる報告に依れば同地方にては冬季嚴寒の候と雖も依然屋外に放飼するの慣習なりしが當局の指導に依り近年牛舍を建設する者多く昨今にては畜牛飼養戸數四千五百戸の內牛舍の設備なきは僅に百三十五戸に過ぎざるに至れり

採鑛者の激增

十月に入りても金塊の出廻り依然衰へざること既報の如くなるが朝鮮銀行平壤支店買收額は六十八貫三百九十二匁價額二十四萬三千六百六十四圓即ち本年第一の買收額なるのみならず十月中の買入額としては實に同所開始以來の記錄なりと金塊の出廻が如斯未曾有の好調を呈するに至つたるは全く奧地採鑛者の激增に起因すべく一方久原製煉所の開始せられたるに拘らず尚ほ且つ此の買收額を示すに至りたるは又以て如何に西鮮の斯業が發展せるかを證するものと云ふべし

群山奉祝準備

群山官民有志發起となり頃日來御大典奉祝會成立準備中なりしが既報せる二日府廳樓上に會合せる官民奉祝協議會に於て其の成立を見たり發起人の提出せる事業計畫に多少の修正を加へ十一月十日より十七日迄每戸國旗及軒燈を揭揚し幔幕又は七五三繩を張ることを市民に無洩通達する事、十一月十日、十四日、十六日の三日を市中一般の休業日とする事、市街の要所に綠門を建設し裝飾をなす事、烟花を打揚ぐる事、提灯行列、旗行列に對する勸誘を爲す事、各種餘興の催しを一般に勸誘する事、生花其他諸會の催しを勸誘する事、自轉車競走、角力擊劍柔道其他競技の催しを勸誘する事餘興は十五日より十七日迄とし不敬不謹愼に涉らざる限り可成盛大に擧行し之れに對しては相當の補助を爲す事、沃溝郡の一部官民も本會に加入せしむる事等を決議し天野府尹を會長に擧げ奉祝委員四十名餘興委員十二名を選定したり

巡回診療成績

平南本年度の巡回診療は平壤慈惠醫院醫員藥劑師を特派し目下第三回(中和郡)に於て診療事務を取扱ひ居れるが第二回の末期に於て施行せし江東郡社倉の如き同郡東北端に位する山間の僻地にして昨年十一月初めて巡回診療を施行せし以來大に目覺め醫業の信賴すべきを覺りしものゝ如く其後は重患にして費力あるものは十八里餘を距つる成興に赴き診療を受くるに至りたる程にて從つて這回の施行に際して生憎雨天の打續きたるに拘らず患者の總數三百八十餘名を算し何れも慈惠施療の恩典に浴するを喜び神術なりとて其の手腕を嘆賞し居れる由

天盃拜授式

釜山府廳に於ては十日午前十時より府廳樓上に於て八十歲以上の高齡者に對し養老賑恤奉授式を擧行する筈

先月連絡船乘降客 關釜

連絡船十月中乘降客數左の如し

▲出港回數六十四回、乘船客九千五百零四名、內譯內地人九千二百十九、鮮人百零九、支那人二四、歐米人百五十二、右一二三等級別一等一六二、二等一七六四、三等七一一五

▲入港回數六十四回、降船客九千四百七十八名、內譯內地人八千二百八十、鮮人八十二、支那人十八、歐米人九十八、右一二三等級別一等四七九、二等一七九二、三等七二〇六

九月中乘客七千三百九十七名に比すれば二千百〇七名の增加降客一萬二十四名に比し五百四十六名の減退を見る右の比較に依れば乘船客の案外多きは之れ全く內地より九月中に共進會觀察の爲め來鮮なし十月に入り歸國なしたるに依るものなり

銀壺獻上

朝鮮在住メソヂスト派の宣教師及び信徒は御大典奉祝の誠意を表する爲平安南道作製の銀壺を宮內省に獻上すべく總督府を經て其の手續を爲す筈にて目下準備中なりと因に右銀壺は朝鮮古代の美術を窺ふに足るべきものなりと

大典奉祝と公州

一般市民は千載一遇の御大典を祝する爲め種々の計畫を無言の裡に進捗しつゝあり爲めに商況も活潑に市民の熱誠と元氣とを示しつゝあり

公州慈惠院長就任

公州慈惠病院にては本年二月以來兎角批評ありたりしが幹部及び其他の職員に大更迭を爲し新に和田院長副院長等の著任を見從前の千葉醫學士とも懇切の間柄なれば今後意思の疏通を爲し病院內の圓滿は延て一般患者に對しても好影響を及ぼすべし

連絡船上陸客

三日午前釜山入港弘濟丸一二等客

一等(九名)井原丹作、本田西造、中川朝吉、外人六名二等(十三名)河崎久米太郎、李友郷、中山和吉、林多賀子、同みよ江、同さき子、岡野乙流、內田政次郎、井口二郎、小泉升平、高橋貞二、高濱清吉、小山雄太郎(三等(五十三名)

三日午後釜山入港壹岐丸一二等客

一等(九名)……二等(……)……同久子、岡野……[illegible]……百七十名)

奇石の奇蹟

諸病に奇効を奏する奇石を携帶して過般來京したる滋賀縣人酒井猶吉氏の事は本紙の曾て報じたる處なるが同氏は本月中旬を以て京城を去るの豫定なりしが多數患者の希望と難病疾に惱めるものゝ爲めに當分滯在することに決し其の質朴なる寓居を永樂町本願寺前に移し治療に應じ居らるゝが其治療を受けたる患者に就いて其効果を驗するに皮膚病に最も効能著しく喘痛肩のこり等は一回にて全治すれど多年の痼疾等は二三回にて其効驗を認むるも全治までには一週間以上を要するもあり、その患者の一二を記さんにもと南部の署長桐原氏の夫人の如きは最重患たる神經痛なりしも四五回にて痛みを去り今は全く快癒し當時を回想して夢の如くなりしと喜び居られたり拓殖の堀江課長は頭部の皮膚病にて多年醫療に効なかりしが曾々奇石治療を受けて三回にて全治せるに驚嘆し吉原總裁の顎部の皮膚病にこれを勸め石を其患部に接觸したるのみにて一種の刺戟を感ずるなどより察するに奇石は絕えず一種の瓦斯を放射せるものなるべく吉原總裁の主治醫は多量のラヂユームを含有せるものならんと認め居る由何れにしても奇石と謂ふべし

商況

東京株式特電

四日	前場寄付	大引
日本郵船	一一六、九〇	一一六、九〇
東洋汽船	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]
新株上同	一二三、四〇	一二三、四〇
日本麥酒	九四、六〇	九四、六〇
東株第一	一五四、四〇	一五四、九〇
東株第二	一五六、〇〇	一五六、二〇

債券現物特電

四日出來値段(前日との比較)	
日本甲號勸業	七一、五〇
同 乙號	[illegible]
朝鮮銀行	一四一、〇〇
南滿鐵道	一三八、〇〇 / 二六一、五〇

公債直取引 (東京)

四日出來値段(前日との比較)	
五分利	九七、二〇
甲號	八〇、三〇
二四分	八〇、一〇
四分	九五、四〇

深川在米特電

四日現在高	
朝鮮米	四一、七七七
同	七〇、三二一
內地米	一五〇、九七四一

大阪株式特電

四日	前場寄付	後場引值
大阪商船	[illegible]	[illegible]
日本綿花	[illegible]	[illegible]
東洋紡績	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]
大阪瓦斯	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]
大阪米穀	[illegible]	[illegible]
東京新株	[illegible]	[illegible]
大阪株式	[illegible]	[illegible]
南滿鐵道	[illegible]	[illegible]

新東京株七十錢 大株三圓十錢方高 郵船一圓十錢方高 鐘紡十錢高

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

四日前場	寄付	大引
十一月限	一一八、一〇	一一八、一〇
十二月限	一一七、四〇	一一七、五〇
一月限	一一九、〇〇	一一九、二〇
二月限	一二〇、六〇	一二〇、六〇
三月限	一二〇、五〇	一二一、〇〇
四月限	一二二、〇〇	一二二、〇〇

下關期米特電

▲四日前場

當限寄付	一三、三一
中限寄付	一三、五四
先限寄付	一四、二〇
	め止

◎四日前場(受渡)

	當限	中限	先限
寄付	三、四八	三、三三	三、七〇
高値	三、四八	三、三六	三、七二
安値	三、四〇	三、二九	三、五六
止め	三、四三	三、二九	三、六〇

朝鮮物產特電

京城改支	一〇、八〇	釜山大豆	八、六〇
清州改支	一〇、六〇	慶山大豆	[illegible]
釜山改支	一〇、五〇	浦項改豆	[illegible]
木浦優支	一〇、三〇	元山別大	二、五〇
同 堆改支	一〇、八〇	端川豆背	七、七〇
群山特改	一〇、四〇	城津大豆	八、三〇
同 曲改支	一〇、四〇	盤山大豆	八、六〇
仁川改支	一〇、八〇	長淵大豆	八、六〇
南浦改支	一〇、八〇	岩城大豆	[illegible]
釜山上白	一二、〇〇	仁川小粒	七、三〇
釜山中白	一一、七〇	宜川大豆	八、三〇
釜山並白	一〇、七〇	平壤大豆	七、五〇
仁川上白	一二、八〇	群山大上	八、二〇
仁川中白	一一、八〇	木浦大豆	[illegible]
仁川並白	一〇、六〇		

雜報

北海新米と大阪米

北海道の新米は此頃收穫濟みとなりし由なるが本年は植付以來天候順調なりし爲め稀有の好作柄を示し植付反別も亦前年より著しく增加したる結果未曾有の增收にて前年の收穫高六十四萬石に比すれば約二割の增收なりと因に又最近七箇年の平均收穫高四十萬九千石に較ぶれば約十割の收穫增加を見るに至れるより從來純然たる米穀移入地たる北海道は漸く面目を改めんとする新傾向を生じ今秋に至りて甫めて新米の內地逆移出の商談開始せられ最近見本取引として大阪堂島米合資會社は旭川產新米百石を金十二圓口當相場にて移入を約定成立しこへ北海道開拓以來の新現象にして北海產米出上新記錄を作れるものなり

綿布界の亂調

驕氣の勢ひを以て奔騰を重ねたる綿布も其後支那帝政問題の火の手を上ぐるや對支輸出市場に一頓挫を來し輸出筋は一齊手控への態度を以て傍觀するの止むなきに至り結果自然人氣を惡化し一時大阪の四圓十七錢五厘迄見しもシーも今月に入て約二十錢方の下値を報ずるに至れり揭て當地の如きは暴騰當時に於ける當業者の先高見越よりし

隨分盛んに思惑

……の廻……續々あるに拘はらず一方には前商間に行はれし見越買の抱擁品少なからざる際とて新期向勅きの見るべきもの無きと共に市場の……

的約定行

……昨今に至り之が……

停滯在荷は漸次

……特筋は我勝ちに資込かんて組手を生じ昨今細布といはず綿布といはず

割外安値に放賣

……向は市場は閑散側の資込み買も現に混亂の狀態を示しつゝあり一部に於ては帝政延期の噂に依りて對り輸出の回復を唱へて今後の前況を期待せるも三日の大阪入電は

綿糸現物の一圓安

を報じて更に糸界の不勢を齎すなり綿布界は此惡戰々慄々たる有樣なり

洋釘更に躍進 (洋釘)

歐洲戰亂以來市價暴騰の一方にて此二三ヶ月間に於て著しき高値を示したる……

七時は共に一圓方六時一時六分一圓

……錢方の下値……

五十錢方の大躍進

……

洋鐵又々暴騰

……

十圓方の暴

……

鐵板相場の昇

……

五錢方の値上

……

浪板

……

五錢方の値上

……

平板値上げ

……

烏山の正米市況

烏川方面の出穀は昨今漸く出廻り期に入りたるもの、如く最近市日の出米は約六百叺內外なるを見る斯く漸次增加の模樣にして人氣は出廻期を控へ持米主の賣腰弱き方なるも仁川其他の買望みに連れて此數日來幾分相場は引締り氣味なり同地今日の相場としては

中白九圓八十錢

糯十一圓二三十錢

見當にて昨今の積出しは仁川を主とさし次に元山方面なるが先は京城は今尙不引合にて其內賤々商談行はれつゝあるものは殆ど他地方に不向の糯米なりと

白米移出注文

白米の移出商談は此報の如く地場原料の小强き成行きに應じて稍々行悩みの姿なりしが大阪期米は昨後場に至り十四圓臺に突飛し今朝は續いて上向好勢を報ずると同時に同地より

一二三の買注文入込み

沖著叺入の十二圓八九十錢なりといふ

下關相場

▲朝鮮白米も手堅し 其後百五十叺の廻著に過ぎざるのみならず產地も兎角安からずして不引合を唱へ各米主の安くは手放さざるに依り其後市況手堅くこれが那々の出來値は左の通りにて目先き一寸弛み難き商情也

▲大豆は依然手堅し 本品は其後の出廻り多からぬのみならず產地も別に安からぬさへ昨今可也に買覗きも有之揃各手持筋の賣り腰强きに依り相場ら市況手堅くこれが出來直は左の通りにて日々相當に賣れ行きつゝあり而して其後の輸入は僅鎬物三百九十叺宜川物五十叺等なり

▲小豆は先づ保合 其後產中自小豆十俵の廻著に過ぎざるのみならず產地も依然安からぬ情報を傳へ居るに連れ各手持筋の氣張り居る爲め人氣惡しからず然れども其後買進む相場は現はれずして賣れ行きの鈍情なる爲め市況活氣附かず

各地商況

○釜山(三日の穀物)

▲正米(十錢高) 廻著品は端境期の事とて出廻り品少なく新米も亦排々數出廻りなき折柄本邦より相應買注文ある事とて移出口直に精米口さも一般買氣旺盛なれども賣人は賣り物稀薄を唱へ一寸賣り渋りの狀況にして底高手堅き商況を呈し大阪期米又々暴騰あり勞々一層好況を呈し相場は大錢高の狀態にて玄米十餘個玄米六百二十七個の取引ありたり

▲大豆 買人は相應にあれども賣人は本邦市況不味に連れ戰期の狀態を示したれども先づ見送り保合なりして取組高は千百七十餘個なり

京城正米

大阪期米は急々十四圓臺に上り今朝は更に好勢を報じ正米又昨今附け値に十餘圓高を買らて正米に引上げ形勢甚だ强く連れて當正米市場も依然底堅に離く一度は崩れる今日にて更角昇り相場にて押付け稍々順調な新米出來値は何分新米出盛り期をもせ一時的にしかなく昨今の現出あるべき爲め此處人氣は隨仕崩れ一種の遺憾あるを以て手合せ行は前同樣の見當を以て出來値は矢張り相場は兎もよし

南大門廻著米

烏山白米	二一〇叺	烏山白米	一三叺
烏山玄米	二九叺	烏山籾	一三叺
烏山玄米	四二叺	烏山荏子	二二叺
牛山泰	三三叺	烏山大豆	一〇叺
烏山大麥	一八叺	全義白米	一一叺
烏致院胡麻	一五叺	全義荏子	一六叺
烏致院大豆	三三叺	鳥致院大豆	一三叺
烏致院白米	五叺	水色籾	二八叺
烏致院白	二一叺	汶山白米	五叺
		汶山小豆	八叺

仁川現物市場

▲籾 入津二百俵定期高に連れ强人氣出廻り新九潮二十錢出來

▲白米 ……定期高に當人高唱へなるも正米出來賣配は定期高に……よ廻り居る振り合に有利であるを直さんと……底を賣る……

▲大豆 入津五百石……出來値……仙川……

南川 ……五圓七十錢……

仁川期米

△大阪前場寄十四圓二十

四日前場

一節十錢と

高の昨日は十六錢方の高値なるも當地は九圓五十錢中、十四錢より五錢と高値なりしも三十三錢さて十三錢にて引先九圓三十三錢さ

安移り一錢とし

れて一錢さ押して引けたり五錢さたるも前に新規に買物多く六錢と上伸したるも別に新規に資物圓はれ無碍にもが大十錢に保合ひず別…

賣聲勝にて十

……前場

仁川前場四日	當限	中限	先限
寄付	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
引値	[illegible]	[illegible]	[illegible]

四日現在保證金 三十錢 [illegible]

市場零聞

▲前場の商戰 買手四百石賣手二百石 買手六百石賣手三百石 ……

▲前場保合ふ 大阪の寄……

▲依然賣氣旺盛 ……

▲正米大移出 ……

▲依然賣募ふ ……

▲保合狀態を維持 ……

▲想買大阪相場の理 ……

仁川米豆取引所

四日の一月限

平均値段	買	賣	取組高
一節	九圓三十錢	九圓三十錢	[illegible]
二節	九圓三十九錢	九圓十九錢	[illegible]
三節	九圓三十三錢	九圓三十三錢	[illegible]
四節	九圓三十二錢	九圓三十二錢	[illegible]
五節	九圓三十錢	九圓三十錢	[illegible]

限月	出來高	取組高	
十一月限	六千四百石	三萬三千六百石	
十二月限	三萬五千四百石		
一月限	三萬三千六百石		

	三日後場出來値	前日比較
寄附	九、二〇	一三安
止め	九、二九	…
高値	九、三〇	六安
安値	九、二〇	九安

北濱だより

▲宇治電株

相場が遲れて居つた處へ某保險會社は遊金の利殖策として採算せば同株の七朱五厘配當に據つて見ても出るは敢て好利廻りといふ譯でもないけれども事業が前途の發展の餘地あるだけに近き將來には一割の配當は覺束でないから今日之を買取つて置けば有利であると某商店の手を透して定期に現株に買進みつゝある折柄に高利配當の價値說倡若くは增資說なども傳はつたので一般の買氣を促進して新規の買物が入込んで來たのみか現物には資方の手講資さへ現はれたので本日はメッキリ昂進して新高値へと吹出したのであるが增資說も確ちに道聽塗說との噂もあつて出るけれは採算上よりは割の高からざる値頃の株で或は人氣が之に集注するならば意外の高値がないとも限らない兎に角に同株の前途は有望であるまいといふ事は一般が是認する處だけに押目には買物は潛在するのだから若しも利喰に下押せば其の押目は買はに妙味が多かろうと觀測せられて居るのである

▲商船株

商船株も稍や過ぎた丈けに昨今は一寸頭重き商狀を呈して來たがそれは海運界の好況さなつた折り合が一時此の好況を持續するや否やの見込みがある丈けに安値には依然として買望みがあるからなあるが更に無碍にも押し難いので相場は伸び悩むに伴れて歐洲の賣物も顯はれると云ふ四國株式であるから一層マイナスの買方を印落しい昇進を望まれねけれども如き昇々しい昇進を望まれねの知れぬが左りとて利廻りの上からも敢て割高でない値頃である

演藝案內

壽座

花町電話五七八 一座 浪花節芝居 東家桃壽太夫 東京 一座 十一月三日より毎日正午開演 入面想道中龜山敵討

御成座

御成町電話二九一 全七場 (一)喜劇『生き地獄』 第五十三回替藝題 (二)淨瑠璃出語り『パッピリ』 全二場 大人一人前金二十錢小人一人前金十錢 場代入らず早い御客様は大勉強にて御覽に入れます

大正館

櫻井町電話八七三番 十一月四日より新寫眞 ◎武露アーサー氏 ○寫劇『……』 ○新派『鬼神お六』全三卷 ○偕樂……神西軍事大活劇『敵陣』全三卷 ○舊劇『宇都宮釣天井』全三卷 ……

有樂館

本町一丁目電話二六六 新築落成 十一月一日より新寫眞提供 ○寫劇『……』……○新派大悲劇『……』……○舊劇『水戶黃門漫遊記』全三十五回 ……

浪花館

明治町電話二六〇番 浪花節 ……虎丸來る 廿六日より每夜六時開演仕候 岡田千代子 ▲演題 ▲百傑 ▲義烈 ◎赤穗快擧錄 ◎德川天一坊 ◎三原助長 ◎席は虎丸十八番中の十八番 長講 三席 虎丸

佐久良座

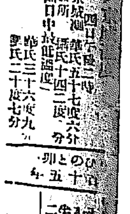
龍山 十一月一日初日開演 松旭齋天勝一行 世界的大魔術 『サラメ』大奇術 定めし大人氣ならん

黃金館

黃金町四丁目 電話二六三七

龍光館

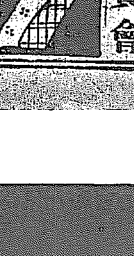
龍山停車場前 電話(龍山)四一番 ○十一月三日より秋期特別大興行 ……年來の御愛顧に報ゆる爲め…… 入場料の儀…… ○上英國ロンドン……英國大ラヂアム…… ○『…』……



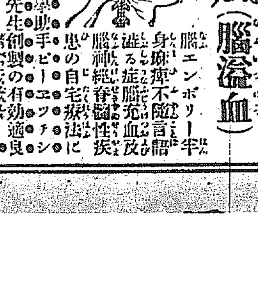
巡査看守受驗準備通學生

外生募集(短期速成及第確實)照會要郵券 ▲大阪本田常盤橋停留所西二丁目弘道學校

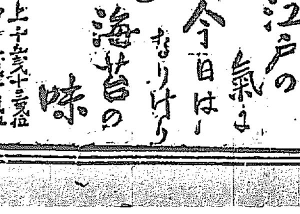
京城協贊會 富協贊會殘務目下整理中ニ付寄附金未ダ拂込ミナキ方ハ本月十日迄ニ申出ラレタシ 始政五年紀念朝鮮物產共進會



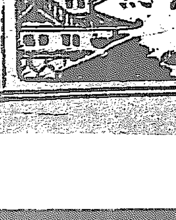
大阪市御堂筋北久太郎町 履物問屋 井筒田屋商店 大路本店 電話東二九百十八番 振替大阪一四一八 大阪履物新聞……



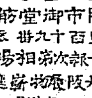
中風(腦溢血) 腦溢血、半身不隨、言語障害、腦充血症、腦神經衰弱、脊髓炎等に 患者の自宅療法に …… 元帝國大學醫科助手ドクトル……川崎先生創製の有効適良藥は專門自療藥あり同病困難者は都市東京田區御門三條南川崎自療法研究所宛申込次第無料說明書呈す



乾海苔 上等 四十錢 中等 三十錢 並等 二十錢
味附海苔 壹圓 七十錢
燒海苔 五十錢 廿五錢
海苔佃煮 三十錢 二十錢 十錢



東京日本橋通り二丁目 海苔鰹節商 柳屋



越後大評定

第三十四席 早川貞水口演

笹岡の局の義俠

老女笹岡言葉を繼ぎ 笹『左すれば私が能う申し聽けまして、必ず御主君の御心に從ひ御機嫌を取るよう致しますに依り、希らか手荒き御沙汰これ無く、今宵だけ此笹岡に御預けの儀を願ひ度う存じます 忠『ム、左樣か道理の儀である、然らば今宵一夜は其方に預け遣はすに依つて、必ずともに予の心に從ふ樣取計へ 笹『ハッ、委細承知仕りました、早速御聽濟み、笹岡身に取り有り難く、必ず思召に從はせまするとて御坐います』と申上る、もう日は暮れなんとする、御殿は御燈光を點ける、

庭下駄を穿いて笹岡が、松の木に結びてあるのを其場に於て其縄を解き千代の手を取り『此方へ御光來あそばせ』と云はれた時は、千代はホッと致したが、又この上、如何なる目に遭ふのか知れぬと、只もう打萎れ八萬奈落の底にでも落ちるやうな心持して、鬼かるゝに從いて行く、笹岡自分の部屋に伴れて來ると、部屋の者を遠ざけ 笹『サアお千代さん貴方は此方へおすわり』お千代さんを云はれた時思はずハッと顔を見て 千『エッ、貴女は琴の御師匠さん』ワッと許り泣き出す 笹『御泣きなさらぬでも宜う御坐います、今日はマアとんだ目に御遭ひなされた一體これは何う致したのか、仔細の程は能く知りませぬ、確か野村、渡邊と云ふ御家來の二人が、御伴れ申たと云ふを聞きましたが只今主君は御亂心同樣、ア、御無體なことを仰せれ先づ先刻は心苦しく御心配で厶いましたらうね 千『ハイ實は私は萬屋金兵衛殿の御子息金三郎殿と、親々の承知、結納とり替せ、今日が婚禮と云ふので御坐いまして、其ため八幡樣へ御詣りを致し今宵は萬屋方へ參ることにて、女共を伴れて、御參詣の途中、御殿樣の御上意、野村樣と、あの渡邊樣が私を無體に御伴れになりました、何う爲ることかと存じましたら、御師匠樣の御蔭で、縄を解いて戴き、有り難く存じますが此前途は何う致したら宜う御坐いませうと、再びワツと泣出すのを 笹『決して御心配には及びませぬ、私の良人岡本權三郎は、以前浮田秀家の御家に仕へた者、然るに關ケ原の御戰ひに、主家は滅亡良人は弱年にして浪人、何れへ仕へることも能はず流れ〳〵て此福井へ來り、秀康公へ御奉公いたす心算で居りました所、良人は不圖した病氣より永の患ひ、それが爲め良人を介抱いたさんと、私は琴の指南、微な其日を送り居る間、貴女の御父上三右衛門殿、大層よく世話をして下され、良人の病中と云ひ、身の上に至るまで厚き御心配、その甲斐もなく權三郎は、氣の毒にも主取を致さぬ其内に、終に相果てましたので、私は貴女の御父上の御世話に依り、此御城中へ御奉公に上り、今は出世して局となつて居りますのも、以前を思ひ運らせば、是みな貴女の御父上の御蔭、其故今宵身に引受け、貴女を御助け致したいと存じ、殿樣を御詐り申すことは家來として申譯も御坐いませぬが、御身を救ふ其ため貴女を此部屋に伴れて參りました、今に御主君の御就寝となり、一同寝鎭まつた頃ほひに私が貴女を御助け致します 千『それは誠に有り難う存じます』

東西南北

△滑稽婚禮に巡査 福井武生町吾妻區 料理店に開かれた某家の婚禮で…九度の盃に將に式も濟まんとし…は何れも猫の皮の破れむ許りの音…に記入せし不圖傍を見れば恥かし氣な…る花嫁姿エイツ巧く化けたりな揃ひ…りにて果ては大笑ひとなつて漸く…が付いた△不思議の手負 長崎市西…たるが原因で何も一切不明だが或…は不良少年が强盜物の活動寫眞を忠…き市教育會の研究問題として昨年來…の宿題であつたが今回愈よ自今各學…典の晴衣に華美を競はふとするのは…參列の榮を荷へる外國婦人連である…附てあるといふ事である△水瓶心中…ゐ日の午後六時頃東京芝區新堀町…△文布が教育會合に…る日曜日に以前さる特殊小學校長で…高文相は去

十一月六日九星 舊九月二十九日 辛丑 本命五黄 八方平 先勝

▲五黄 ふと體に障る事有日 殊に新事見合南方は吉 暗剱なし ▲六白 蒲團の日 轉居旅行入學名弘求職造船婚禮土工請負等萬吉 ▲七赤 大望叶日 轉居行商等皆吉 女子は思はぬ寶祿を得ることあり ▲八白 辛勞甲斐のなき事有日 願ふ有望の日也 ▲九紫 評判よき日 轉居旅行入門名弘求職 縁談婚禮 音樂藥學萬吉 ▲一白 新事手控席の事は吉 行儀を守り一百半旬も大切にせらるべし 新事手控 ▲二黒 他の惱を圖て散財せんと控帑の事は吉 ▲三碧 心殘りの事有日 新事手控 萬事談話は妨なし ▲四緑 平運の日と雖も新事手控の方吉 萬事愼みて掛るは吉

約百圓の資金で一ケ月に五百圓 純益ある活動寫眞興行が手輕に出來る新案登録器械 委細説明書にあり郵券二錢送れ 東京淺草八幡町 振替東京一六六八八 大澤商會

酒煙草きらひになる藥 どんな酒煙草のみでも害なく心から嫌ひになる ―禁酒丸―禁煙液― 郵券二錢送れば説明書及大澤博士の禁酒禁煙論其他名士の進呈 本舗 大阪市堺筋南通二 森田商店

M EP 名譽大賞牌受領 大阪唐物町四丁目 阪田商店

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版 最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と叮嚀親切を旨とし御高需に應じ候 京城日報社寫眞製版部

攝津灘 大塚釀造所吟製 金露 京城本町四丁目 發賣元 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五

イゲダ小兒病内科醫院 池田季雄 京城三越呉服店前へ入る旭町四丁目 電話(醫院一二三四番 自宅八八〇番)

無双醇良清酒 衛生無害 品質無双 首藤合名會社吟造 精白米御小賣 キリンビール サッポロビール 醤油㊄龜甲萬 各種 三矢サイダー シトロン 各種 朝鮮發賣元 首藤京城支店 黄金町(電話一一七一番)

資本金 貳千百五拾萬圓 積立金 九百廿五萬圓 京城本町二丁目(振替貯金京城一一番) 株式會社 第一銀行京城支店 頭取 男爵 澁澤榮一 銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候 内地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

眼科專門 京城本町六丁目(元軍司令部通り) 金井眼科醫院 院長 金井豐七 電話一五五六番

新案特許素人用 痲病 梅毒 熱氣 療法 男女痲病梅毒簡單―秘密 博愛醫院 東京神田今川橋 電話神田七二二番

懐中要薬
清心丹は旅行携帶藥として缺ぐ可からざる良藥にして汽車汽船の惡い心を快よくすること妙
清心丹は高尚の香氣を含み口熱惡臭を排し咽喉を潤し音聲を清朗ならしむる特效有を以て紳士紳士其他交際場裡の必携劑也
清心丹は遠足之際口に含みて走るときは息切することなし
清心丹は風土變り水あたり等の恐れあるときは時々二三粒づゝ用ゆれば其患ひなからしむ
清心丹は過酒過食之停滯を解し消化を良好ならしむること妙
清心丹は暑さ寒さあたりにて下痢腹には三十粒乃至四十粒を噛み碎き三四回用ゆれば必す奇効あり
清心丹は傳染病流行地に於ては常に二三粒嚙碎用て大に豫防す
清心丹は人魚の商標と高木與兵衛の名儀へ御注意之上御求を乞ふ
清心丹は定價金一圓(箱入)五十錢(箱入)卅錢十五錢(錫入)廿錢十錢五錢(紙包)の七種あり
清心丹は製造本舗は東京市日本橋區元大阪町八番地にして取次は全國到る所の有名藥店にて販賣す

登録商標 太物類各種足袋問屋 染手拭木綿並に足袋原料 袋製造販賣 並にカバー 山印大阪足袋一手販賣 明治足袋會社特約販賣 大阪市東區唐物町堺筋角 柿定商店 電話(國東一四七番) 振替口座大阪二三七五番 ▲營業科目及相場表は御一報次第進呈仕候

内科 小兒科 入院隨意 京城日出小學校前 多々見醫院 院主 醫學得業士 多々見五郎 電話九四〇番

故郷の父上、母上は……お齡を召して白髪だらけ!! 早く歸省て御土産に 東洋一のしらが染 二十分で綺麗に染まるナイスで 染めて上げる時の…… 御喜の顔が早う見度い!!

五大特長
■タッタ二十分で染る
■永く褪ず剝げず
■艶々と黒く美しく
■毛の癖を癒ほし
■用法至極手輕

男子用二十五錢 小瓶三十五錢 大瓶六十錢 發賣 大阪、東京 丹平商會 全國到る處の藥店化粧品店に販賣す

愛用商標 白毛赤毛染 ナイス

冷 卸發賣

大阪府堺市 釀造發賣元 肥塚源次郎 京城本町二丁目 特約販賣店 佐藤牧太郎 同 本町三丁目 特約販賣店 明治屋支店

模範 牛乳 純粋培養 ヨーグルト 場主獣醫肥塚正太 京城東大門外 東亞牧場 (電話二五番)

京城壽座前 太平堂名刺舖 電話二七一二〇 振替三三六七 地方は郵送料不要

日本郵船仁川出帆

○大連太沽牛莊行 三河丸 十一月八日 正午出帆
○大連、太沽行 高砂丸 十一月廿二日 正午出帆 相模丸 十一月三十日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 堀回漕部 電話十一番

朝鮮郵船

本社 電話長一九五二番 二三一三番 鐵道及社外船と荷客連帶輸送の便あり、詳細は支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會願候 京城荷客取扱店 松原運送店 (電話長一一七〇)

全羅丸 十一月四日 / 京畿丸 十一月十四日 / 黄海丸 十一月十八日 / 成鏡丸 十一月八日 釜山發 (門司より釜山各港寄港雄基間ニこと)
穩城丸 十一月九日 / 昌平丸 十一月三日 / 鏡城丸 十一月五日 元山發 (元山より各港經由雄基行)
能登丸 十一月十日 / 忠清丸 十一月十七日 元山發 (城津、清津、浦鹽行復航釜山經由門司)
永興丸 毎月廿八回 元山發 (又は長崎延長 北久味、古里浦行)
嘉島丸 十一月六日 釜山發 (甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行)
江陵丸 毎日 (釜山浦項)發 (長生浦、方魚津寄港)
三浦丸 十一月八日 釜山發 (長承浦、統營、巨文島、濟州島各港行)
海州丸 巨濟丸 統營丸 慶寶丸 毎日 釜山發
順天丸 三日目毎 木浦發 (各港經由順天行)
慶興丸 十一月六日 木浦發 (各港經由濟州島行(四週))
公州丸 十一月十二日 木浦發 (南多島海列島行(月三回))
公州丸 十一月四日 木浦發 (各港經由濟州島行(東廻))
宗信丸 十一月五日 仁川發 (海州他各港經由、鎭南浦行)
江原丸 十一月六日 仁川發 (芝罘、大連、青島行)
肥水丸 十一月八日 仁川發
晋州丸 十一月十二日 仁川發
全州丸 南陽丸 毎日午前 仁川發 (江華島、桐喬島、海州行)
平安丸 十一月十三日 仁川發 / 十一月十六日 群山發 若松發 (往航 大黒山、木浦、門司、若松行 復航門司、二木浦、群山行)

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
秀吉丸 十一月八日 午後四時出帆
君が代丸 十一月十日 午後四時出帆
神代丸 十一月十二日 午後四時出帆
大有丸 十一月十五日 午後四時出帆
○群山、大阪行 第二太湖丸 土海丸 十一月 日 午後五時出帆
仁川海岸通 高杉回漕部

大阪商船仁川出帆

○中國四國沿岸各港行一層明細を以て通路
○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 漢城丸 十一月六日 溫州丸 十一月十四日 汕頭丸 十一月廿一日 午後五時出帆
○木浦、釜山、長崎行 ▲は臨時寄港 安東丸 十一月九日 ▲天智丸 十一月十八日 午後二時出帆
○鎭南浦、大連行 安東丸 十一月五日 天智丸 十一月十三日 午後二時出帆
○木浦、神戸大阪行 薩摩丸 十一月 日 午後五時出帆
○群山、釜山、横濱行 千珠丸 十一月廿六日 チヨイサン丸 十一月十四日 午後四時出帆
○大連直行 千珠丸 十一月廿日 チヨイサン丸 十一月八日 正午出帆
○清津、浦潮行(元山出帆) ▲は城津西湖津に寄港 地久丸 十一月九日 神宮丸 十一月十八日 ▲城津丸 十一月四日 午後三時出帆
○上海、基隆、打狗行(大連出帆) 新高丸 十一月十六日 安平丸 十一月六日 午前十時出帆
御注意 ○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との聯絡切符發賣仕候 ○御乘船客は本船出帆約一時間前御買求め ○×印は一等客御斷り △印は船客御斷り
仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話一二番 三二〇番 五五〇番
京城切符發賣所 内國通運會社支店 電話七八〇番

共同汽船仁川出帆

第一共同丸 芝罘、大連行 十一月四日後二時入港 十一月六日前九時出港
第一鶴丸 城津、清津、浦鹽行(元山出帆) 十一月四日 後九時出港
第三共同丸 西湖津沿岸各港を經て雄基行 十一月四日 前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社 本町一丁目(電話一〇八番) 仁川代理店 山下回漕部 元山代理店 田口回漕部(電話二四四七番) 京城取次店 河村運送店 南大門電話(二一六八、二〇一七)

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行 小倉丸 十一月十六日後五時出帆
○元山城津浦鹽行 小倉丸 十一月四日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 立神丸 十一月九日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行 立神丸 十一月十八日後十時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 十一月十一日後九時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 十一月二日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天貝丸 毎月二日九日十六日廿三日 午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

京城日報
年中無休刊
(第二千九百三十三號)

京城日報

産業開發策(四)

既往五年間農を勸め、工を興し、富源の開發をして容易ならしむるの政策は、他方交通の進歩、金融機關の周布等の方策と相俟ちて、玆に半島經營の面目を一新せり。然れども歳月五年の努力は未だ多大の權威を有するものに非ず、要するに礎石を据ゑたるに過ぎずして、建設は今後に在り、成功は之を將來に望まずんばあらざる也。

吾人は謂ふ、朝鮮開發の方針は之よりして愈々鞏固を加へ、周到を極め、今後五年或は十年に於ける進歩發展の期して待つべきものあるを。而して從來主として力を注ぎしものにして或は今後當局者が從來と同一程度に斡旋助長するを要せざるものもあるべく、或は又過去に於ては第二義第三義とせられしものにして今後は主力を之れに傾注するを要するもあらむ。是等産業に對する獎勵助長に輕重先後の別を立つるの標準は既に既往の成績に鑑み確立せられしを信ず。

吾人は玆に産業の開發策を論ず、而も全般に亘り概説するに非ず、今日以往の方針が斯く定めらるゝに於て最も奏功の著しきものある點を敍せんとするのみ。物産の量を增し質を良くするに就て、換言すれば技術的方面に就て吾人は稍々的確なる教訓を得たり。想ふに此方面に於ては今後大なる齟齬を生ぜざるべし。但だ産物の消費を如何にすべき、其の販路を如何にすべきや等多少國家社會的に考慮を要する政策の方面に對しては、從前よりも更に一層の力を須ひざるべからざるを思ふ。

朝鮮の貿易は年々輸移入の超過を示す、之れ一には時勢の進運に伴ふ鮮人の生活程度の向上、産業發展に基く購買力の增加等にも因るべし。併朝鮮の産業が未だ朝鮮内に必要缺く可らざるものゝ生産を自由にするほど進歩し居らざるに因る事亦大なりと謂ふべく、從て未だ幼稚なる工業を振興するに當りては、奢侈品の如き其の需要比較的少きものは之を措き、大多數の必需品にして殊に其れが外國の供給を仰ぎ居る種類のもの、製産を先づ第一の急務として計るべき也。而して又同樣に急務とすべきは現在豐富に生産せらるゝ物の販路を朝鮮以外に求むる事也。是等は貿易の關係より見るも實に今後經濟の進歩を策する上に先づ考慮を要する點にして、之れを期するには當局者の努力は素より、民間當業者の奮發を要するのみならず、商工業の機關たる商業會議所等の盡力を俟つこと洵に多大なりとす。吾人は別に稿を改めて順次産業の開發に必要なる題目を數へ之を論せむとす。(此稿畢)

功勞表彰(四)

砂金採取業　淺野總一郎

朝鮮は古來砂金床の豐富を以て聞えしものなりと雖も、其操業に至りては實に姑息幼稚の方法にして鑛利を損すること大なりき、然るに同氏は夙に大規模の操業法に依り平安南道平原郡順安に於て之れが經營に當り孜々克く其業に努め年産額三四十萬圓を擧げつゝあり、實に朝鮮砂金業者の白眉と謂ふ可く尚ほ巨費を投じて將に機械掘を爲さむとし目下之が準備中に在り、朝鮮斯界の發展を誘致すること尠少ならず今回の表彰亦故ありと謂ふ可し、今既往三箇年間に於ける其鑛産額を示せば如左

大正元年	四十七萬五千六百四十圓
大正二年	五十萬三千九圓
大正三年	二十九萬二千百三十二圓

鐵鑛業　富田儀作

同氏は黃海道殷栗郡に於て舊韓國宮内府又は農商工部所屬鐵山たりし頃より採鑛又は採掘に從事し明治四十年八幡製鐵所所屬に移管以來引き續き採掘に從事しつゝあり、其創業の際は該地方一般不穩の狀態に在りて操業甚だ困難なりしにも拘らず克く事業を繼續し製鐵所の需要に應じて多量の鑛石を供給し爾來年々約五萬噸の採掘を爲して之れが供給を續行しつゝある功績は實に日本製鐵事業に至大の影響あるものと謂ふ可く、且つ採掘請負人の通弊たる濫掘に傾くことなく常に組織的試掘を續行し勉めて鑛利を損せざることに勉め創業以來多量の採掘を爲したるは實に斯業の好模範たるを失はず、今最近五箇年間に於ける産額を擧ぐれば如左

明治四十三年	二萬二千三百噸
明治四十四年	二萬四千五百噸
大正元年	三萬九千噸
大正二年	四萬四千三百五十五噸
大正三年	五萬五千六百六十二噸

鐵鑛業　西村鶴太郎

氏は明治四十年以來黃海道載寧郡に於ける八幡製鐵所所屬鐵山の採掘に從事し其創業の際は該地方一般不穩の狀態に在りて操業甚だ困難なりしにも拘らず克く事業を繼續し爾來年約五萬噸の採掘を爲して之れが供給を續行しつゝあり、又採掘請負人の通弊たる濫掘に陷ることなく常に試掘を續行して鑛利を損せざることに勉め創業以來多量の採掘を爲したるは實に斯業の好模範といふ可く今回の表彰また偶然ならざるを知る可し今最近五箇年間に於ける其鑛産額を擧ぐれば左の如し

明治四十三年	五萬四百九十三噸
明治四十四年	三萬三千二百五十七噸
大正元年	五萬二千百五十噸
大正二年	四萬三千三百九十一噸
大正三年	七萬六千七百六十九噸

平和運動

在東京　一記者

▲昨年歐洲戰役勃發以來、平和運動を試むるもの、嘗に之有り、或時は中立國政府之を企て、或時は交戰者此に努め、或時は羅馬法王廳之を提唱す、然れども未だ曾て其要領を得たるものあらず、其失敗に歸するを餘に數はならずや、今日にありては縱令之を試むるものあるも眞面目に之を聽くものなく、宛も定期的流言を以て之を輕易するの情あり、最近獨逸が米國及び西班牙瑞西諸國に[illegible]して、媾和運動を開始したりと報ずるを頻々たりと雖も、世間寧ろ例に依りて例の如くなるべしと爲すもの多きは、決して偶然にあらざる也。

▲歐洲列國は昨年八月を以て戰爭を開始し、今や一年四箇月を經過したれども形勢全く未定にして、戰線は益々擴大し、戰爭の損害は益々增加す、剩へ何れの交戰者も財政上の困難に加ふるに、内閣更迭其他政治的混雜の頻發するあり、交戰者に一定の目的あり、其目的を貫徹し得べき可能性現然たる以上は、如何なる困苦如何なる損失をも忍ぶべしと雖も、其忍耐力も程度問題なり、交戰者が今其目的を貫徹するの見込なく、且疲困倦怠を生ずるときは、所謂媾和運動なるものは初めて其効を奏す可きなり、一般の形勢此に到るまでは百千の運動者ありとも、恐くは寸効を見る能はざるべし。

▲今日歐羅巴交戰國及び戰線の狀況に關する報道は決して十分なりと云ふべからず、殊に我敵國たる獨墺土太利に關する報道は、極めて不十分にして、其の眞相を知るは甚だ困難なれども、獨墺二國が孤立無援の地位に陷り、其の財政及び軍事上の窮苦は、蓋し言ふに勝へざるものあるべく、譬へば猶ほ釜中の魚のごとし、其の跳躍飛躍するは、只其水の未だ熱せざる間の事のみ、其最後の運命は甚だ測り知りがたからずと雖も、之を攻擊するところの英佛露も、亦相當の犧牲を拂はざるべからず、戰爭は意の如く進捗せずして、其犧牲は則ち案外に大なり、是れ輓近各交戰者を通じて、政治上の混雜を免かれざる所以にして、英吉利佛蘭西共に殆ど其時を同くして、内閣改造を行ひたるは、東歐外交不成績なるに起因すると雖も、東歐諸國の嚮背は、一に戰局の消長によるものにして、敢て外交當局者のみを責むべき事にあらず、各國外交家皆精勵努力して其功を成すを務むるも猶ほ事物意の如くなる能はざるものあり。愈よ勝敗定る迄は、此種の動搖は常に是有るものと見るの外なきなり。

▲且是れまで交戰者として、自ら平和を需るものは常に獨逸にして、彼が媾和を急ぐの事情は、其痛苦に堪へざるの爲めたるは勿論なり、然れども現在の有樣を以て之を云はゞ、露西亞は其國内の第二防禦線をも棄て退き、佛蘭西亦國内今猶ほ獨墺軍の占據するところ廣大なり、而して東歐羅巴にありては、獨墺軍塞爾比亞を蹂躙するあり、聯合軍は今以て土耳其海峽を攻略せざるのみか、勃牙利は敵に與みし、希臘羅馬尼亞は遂に起たずして中立を固守すと云ふ次第にて、大體に於て聯合軍は不利の地位に立てり、故に獨墺二國にして、大讓歩大犧牲を忍ぶか然らざれば、戰局一轉聯合軍大勝利を占むるの後ならでは、到底媾和問題は實現し來るべからず。

青丘詩鈔(三)

朝鮮の活版　蘇峰生

予が支那に於ける膠泥版の標本として所藏するは、道光十年に出板したる南疆繹史四十八卷である。此れは仿宋膠泥版印法と特筆してある。而して最初に八十部、次ぎに百部印刷したと明記してある。此れは前の玉纂に比すると、字形も正しく、排印も巧妙である。

朝鮮の活字は、概して豐肥、優雅なる衞夫人字を主とすれども、其外にも各種の字體もあり、大小肥瘦、枚擧に遑あらぬのである。且又一私人の印刷、若くは地方に於る印刷などには、幼稚極まりたる活版も尠なからぬのである。但だ中央政府で印刷したものには、同じ活版ながら、支那同時代の活版と比すれば、其の精善なること、迚も同日の論ではない。現に我が成簣堂に藏して居る、正統年間に印行したる中庸の如きは、今を去る四百七十年前に拘はらず、實に立派なるものである。

蓋し此の『青丘詩鈔』は、從來傳來したる所の朝鮮の活版印刷に於ける、恐らくは掉尾の一として認むべきであらう。此書は寧ろ標本的に編輯したるものなれば、其詩も極めて遺漏多かるべく、且つ其の採收したるもの悉くが、必ずしも好詩なりと云ふ事が出來ぬが、兎も角も代表的の作として見ても可からう。彼の鄭知常が大同江の作に

雨歇長堤草色多。送君南浦動悲歌。大同江水何時盡。別淚年々添綠波。

の如きは、苟も半島の文學に心あるものは、克く知る所の作である。又鄭夢周が奉使日本の作に

幣蓋翺翥志未伸。羞將寸舌比蘇秦。張騫槎上天連海。徐福祠前草自春。眼爲感時垂淚易。身因許國遠遊頻。故園手種新楊柳。應向東風待主人。

の如き、流石に麗末の人物だけあつて、詩も自ら一種の感慨がある。予は朝鮮總督が斯の如き事を企てたるを嘉し、且つ總督の命を受けて、其事に膺りたる人の勞を大なりとし、玆に感謝の情を表すると同時に、是程の珍書に發行の部數を明記せず、且つ其の番號を附せざりしを遺憾とするものである。

元來朝鮮の活字本の特色の一は、部數の少なき事である。今日奎章閣に保存されて居る、李朝諸王の實錄の活字本は、僅に四部印刷しただけであると聞いて居る。其他或は九部を印刷し、或は二十部を印刷すると云ふ位であつて、百部以上印刷したる本は、極めて稀であつたらしく思はるゝ。今回の出版の如きも、其の部數は、恐らくは數百を出でざると信ずれば、他日此書が珍本たるのみならず、今日既に珍本と云うても差支へなからう(完)

慘苦の白耳義

京城白國總領事館寄

四、農民の慘苦

獨兵が村落に入るや、老若又は窓に現はるゝ村民に向つて先づ砲火の洗禮を行ふ、隊長は村役場に臨みて村長を召喚し直ちに徵發を命ず、時を移さず兵卒は全部落に開展して間もなく、渡遲るれば門戸を破り住民を虐待し、酒藏に入りて酒食を供せしむ、或る者は並立てる村民を引致して人質となす。若し過つて一發の砲火を放てる者あり、徵發品引渡の遲延するあり、取立金の納付を行はず、又は此の方面に於て我軍の攻勢に出づるあらんか人質は直に殺害せらる可し。[illegible]

日報俳壇

雉子郎選

秋雨

秋雨や軒に當りし笠の覆　容堂
秋雨や猫濡れて行く垣の上　同

動物園

秋雨や人を見て鳴く夫婦鹿　小澤
秋雨や砂掘る船の音重し　露風
秋雨や曲馬の娘縞物す　盧中子

仁川港口

星月夜林檎さやかに湖邊哉　東村

星月夜

廣く住む夜を物怯ぢ星月夜　同
宿に急ぐ星月夜馱馬は遲れけり　澄黄子
階下流る鉢の花何に星月夜　同
來賑く程沿ひ來し舟ゝ星月夜　義朗
大に知り迎へ寄る馬車や星月夜　雄川
訃を告げに棹ぎ悲し星月夜　容堂
蒲潮に荷船入る江や星月夜　蘆巣
苦につゞく野の道白し星月夜　曲水
星月夜問はれて知らぬ街の地理　北星
友迎ふ延著の汽車や星月夜　和京
行先をよぎる猿あり星月夜　泉國
我家への道へ行灯や星月夜　雉子郎
祖父を父を奪ひし瀞や星月夜　同

朝寒

朝寒き人の門訪ふ我が身哉　青扇
朝寒き嚥ひしつ書生叱　同
朝寒や壺の底搔く殘り味噌　義朗
朝寒く尾切れ金魚の餘命哉　菁村
朝寒や醉醒待つ間を馬に焚く　小澤
訪ひありく近火の禮や朝寒き　潮外星
舟を出て灯もなく曉の野邊寒き　露風

夜寒

物を縫ふ母の目とし夜寒の灯　麥圃
卷更へし繃帶かたき夜寒かな　韭城
室もとに主客に廣し夜寒の灯　羊兒

やゝ寒

行き暮れて馬嘶かすそゞろ寒　逸水
やゝ寒の末座に能を見たりけり　幽谷

□秋の句を募る(十一月七日迄)立冬以後は冬の句を募る。投稿宛所變更 京城明治町二丁目筒井東村方

廣告

一 本館及魚槽額緣(黑塗具共)
一 小使室(黑塗具共)
一 魚槽金部
一 海獺池の廂
一 外柵(櫻ビール寄贈門共)
一 東北百七間南七十七間西四十二間
一 旭星旅館側の板壁
一 外柵の内鐵條網
一 東七十間西四十二間南七十七間鐵條網五條
一 切符發賣所
一 休憩所(稻田氏前)
一 アーク燈柱二本
一 水槽塔
一 濾過池及附屬槽共六點
一 淡水槽及其臺
一 燈臺(鐵張り及搭内は鐵物を除きたる材料)
一 付木
一 時計パイプ 十二本
一 二時フヰルトパイプ 十二個
一 三方コツクバルブ 二徑 二十個
一 銘管
一 參考品陳列臺
一 標本陳列棚
以上入札の外競賣に附す
入札及競賣品一切來る五日午後一時
大正四年十一月四日
仁川協贊會

寫眞
出張撮影寫眞銅版
大和町一丁目電話一四二九番
朝鮮寫眞通信社寫眞部

京城日報社取扱の
萬歲旛
國旗揭揚器
各書籍
其他廣告寫眞銅版等總て本社同樣取扱可申候
仁川濱町
京日仁川代理部
電話二四〇番

滿蒙處分論
(クロパトキン將軍原著 佐々木大尉譯)
京城日報代理部

新刊書御案内
書名　著者　定價
即位大嘗典禮史要　櫻井秀　一、三〇
御大禮圖譜　池邊義象 今泉定介　二、五〇
若?藥?新兵の生活　池田掃外　六五
國家の理想と青年　後藤源吾　五
本然生活　加藤一夫　一、〇〇
改造の試み　田中王堂　一、二〇
立命安心逆順論　中野天心　九五
自然論　エマーソン　八五
活ける宗教　境野黄洋　一、〇〇
藝術家と藝術運動　森田慶之助　一、二〇
少年行　中村星湖　一、〇〇
鑛産工業分析法　船木靜二　二、五〇
三四郎　漱石　九五
色鳥　漱石　一、二〇
戀より戀へ　御風抱影譯　七〇
女人國記　羌氏 岳山　一、二〇
歐洲戰爭美談淚痕　與田次郎譯　一、〇〇
飛行機の智識設計　今川武一　五〇
初等作詩法　森川竹磎　一、三〇
井上英和大辭典　特一二
作文本位英文法辭典　入江祝衛　一、八〇
南淵修養百話　澁澤男　三〇
國民道德序論　亘理章三郎　三、〇〇
大阪屋號書店　京城本町 電話二〇八六番 振替京城二五七二

朝鮮及滿洲
第一百號記念號
一冊二十五錢半ケ年一圓五十錢一ケ年二圓八十錢
本號に限り五十錢(送料二錢)
東京より京城迄　阿呆鳥
編輯室より　旭邦生
御即位式と民心の一新　旭邦生
金剛山と公園　今川生
東洋研究と京城大學　金澤文學博士
殖民地と國防　鎌田榮吉
最近の米國　太田黑眼
支那問題と帝國　長島隆治
英國主義と獨逸主義　入江正太郎
吾輩は如何に朝鮮を觀しか　淺田參議官
移民地としての朝鮮及滿洲　赤地拓殖課長
名士訪問印象記　旭邦生
吾人は何故に總督政治と爭ふか　一記者
朝鮮引揚者の昨今　一記者
朝鮮總督としての寺內伯　菅原精一
帝國政府と朝鮮産業政策　加藤
余は如何に朝鮮人を見しか
水理事業と朝鮮　八寺農學士
多島海の平野　足立技師
朝鮮文獻の方類　山岡技師
東蒙古の地理と種族　淺見法學士
性的方面に觀た内宮　工藤ドクトル
滿蒙視察記　石橋東岳
發行所 京城旭町二丁目 朝鮮雜誌社 電話一二五〇番 振替京城一三一

海外
十一月號
主幹法學士 朝日凪一
發展的國民の大陸　▲日支親善策
大有望の比島
大附錄 西班牙
發行所 海外社

最新刊
ホトトギス雜詠集
高濱虚子先生選
△不折、百穗畫 △價五拾錢 送料六錢
ホトトギスの雜詠中より俳句數千を拔萃し分類輯集せる者
天下の宗匠一堂に會す入神の妙趣
俳句を學ぶ者俳句を味ふ者の熟讀すべき無比の良參考書也

□新學期開講記念空前の大特典あり□
新俳諧講義錄
講義錄毎月二回發行一ケ年卒業(外俳句雜誌毎月進呈す)
東京小石川區東青柳町二九
見本つき規則書は申込次第進呈
大日本俳諧講習會
電話番町三六九六番 振替東京八九六〇番

支那帝政問題

▲帝國政府の態度

動亂起らば臨機の手段を講ず可き旨を通告するに決す

我勸告に對する支那政府の回答は二日閣議散會後外務省に到着したるを以て石井外相は同夜早稻田に大隈首相を訪問し旁々協議の結果三日臨時閣議開催の事となり同日午前九時半石井外相は大隈首相と共に參內し親しく聖上陛下に拜謁右回答に就き委細伏奏し且つ折から開會中の樞密院會議にも其の顚末を報告し終つて闕下を拜辭し直ちに外務省に至り幣原次官以下各局長を招集し會議を開き省議を取纏め午後三時より早稻田の大隈邸に開會の閣議に臨み回答の內容及び省議の始末を報告し列席閣僚に諮るところあり各大臣交々所見を披陳し結局支那の回答は未だ斷定的性質のものにあらざれば帝國政府も亦た疾風迅雷的再警告を與へず暫く假すに治安の責任を以てし帝政運動の進行に伴ひ隨處に動亂起り在支帝國同胞の生命財產と帝國の利權を侵迫するものありと認めたる場合は帝國の自衞と友邦の秩序を保持する必要上臨機の手段を講ずべき旨を通告するに決し午後六時半散會したり(東京特電)

▲今明日中に態度表明

頻々代理公使に訓電を發す

支那政府の回答に對する帝國の態度は三日大隈首相邸に於ける臨時閣議にて其方針を決定したるを以て四日午前中より石井外相は小幡代理公使に對し刻々訓電を發し居れば多分五日若くは六日中には代理公使より支那政府に向つて帝國の態度を表明するに至るべし(東京特電)

▲總統府裏面の傲語

北京總統府側にては日本が支那に最後の處置を採らんとすることゝ又日本が英露佛等に一致行動を取らしむることは不可能ならんと傲語し居れり(北京特電)

●對支方針議定

四日の閣議に於て

●對支方針議定の爲め五日の定例閣議を繰り上げ四日午後一時より首相官邸に於て閣議を開き首相より午前中宮中に參內伏奏の顚末を報告し次で石井外相より前夜半到著せる小幡代理公使其の他よりの電報を報告し協議の結果帝國の執るべき方針を決定し其れより一般政務及び御大禮事項並に內閣京都移轉に關する事項を協議し散會せり(東京特電)

○獨軍退却

伯林公報に曰くヒンデンベルヒ將軍はスウエントン、イルセン兩湖水間の線より退却するの止なきに至れり(紐育電報)

◎在墨邦人の處理

米國政府に要求す

華盛頓來電に據れば珍田大使は米國政府に對し墨國內にて日本領事の駐在し居らざる地方に於ける日本人問題に關しては在墨米國領事之れに代りて處理せられたしと要求せり(紐育電報)

◎對支問題伏奏

大隈首相は四日午前九時半參內天皇陛下に拜謁し對支外交善後策に就き前日の臨時閣議に於て協議したる事項を伏奏し且つ御下問に奉答する所ありて拜辭せり(東京特電)

◎神宮祭主任命

四日左の通り任命ありたり(東京特電)

陸軍少將大勳位功四級　邦彥王

兼任臨時神宮祭主

◎觀兵式指揮官

十二月二日青山練兵場に於て擧行の大禮觀兵式諸兵指揮官參謀長左の如く仰付られたり(東京特電)

元帥陸軍大將　貞愛親王

大禮觀兵式諸兵指揮官被仰付

陸軍中將　田中義一

大禮觀兵式諸兵參謀長被仰付

◎鹵簿行進豫習

賢所御羽車を奉擔し參らす可き八瀨童子五十八名は鹵簿行進豫習のため四日午前十時東京驛著宮內省に入り準備を整へ午後二時八瀨童子十六人御羽車を奉擔豫備として十六人附き從ひ左右に近衞將校騎馬にて從ひ續ひて近衞騎兵二十騎後に諸員馬車を驅り肅々として宮城發東京驛に向ひ三時半豫習を終れり(東京特電)

◎賜餐拜戴次第

內務省にては十六日地方に於て賜はるべき賜餐の次第を定め各地方長官宛通牒を發せり(東京特電)

賜餐次第

十六日正午諸員式場に著席上席者賜餐拜戴御禮執奏の辭を述べ次で賜餐拜戴次に上席者天皇陛下萬歲を三唱一同唱和退散

◎功勞者と叙勳

御大典を機とし全國市町村長並に慈善感化救濟事業の經營者中有力なるものには特に功績表彰の爲め叙勳の恩命あるべく既に各地方廳より五百名を推薦し來りたるが內務省にて更に銓衡の結果此程五十餘名に對し其筋に上申したりと(東京特電)

◎授爵叙勳恩命

御大典に際し國家の功績者に對して授爵の御沙汰あるべき由なるが授爵の範圍は極めて少數なれば其恩命は御即位式當日を以て降下あるべきも叙勳者は意外に多數なる爲め銓衡調査に多數の日子を要するに依り己むを得ず叙勳の恩命は御即位式後に於てせらるべしと(東京特電)

◎町村長に賜餐

同志會にては今回の大典に自治體の代表者たる町村長をして地方賜餐に參列の榮を得せしむるは皇室と國民を連結すべく非常の效果ありといふ意見に基き協議の結果內閣と交涉したるに二日の閣議に於て愈々町村長一萬二千餘人をして府縣にて擧行する賜餐に列席せしむることに決し既に御裁可を得たりと(東京特電)

◎恩赦賑恤恩命

御大典に際し恩赦賑恤等の恩命降下あるやにて何れも御即位式當日其れ〲御沙汰あるべく同時に賑恤養老等の恩命に對しては內務大臣より又恩赦に對しては司法大臣より各地方長官に聖旨を體し敢て悖らざる樣各訓令を發する爲め目下準備中(東京特電)

◎東京市民の光榮

御苑離宮拜觀を許さる

聖上陛下には來る十二月九日上野公園に於て開催さるゝ東京市奉祝會に行幸の翌日より二日間新宿御苑並に濱離宮の拜觀を市公民九萬七千六百二十三人並に高齡者四千百二十人に對し差許さるゝ旨御沙汰ありたり尙ほ高齡者には一人限り付添を差許さるゝ由なり(東京特電)

◎排貨と貨物輸送

鐵道局調査に依る十月中の院局線發滿洲行貨物運輸成績を見るに次の如く總輸送數量六千九百六十九噸前年同月に比較し五百噸(七分)の減少を示せるが今院局線發別々に輸送狀況を見るに

院線發	南滿線發	三、〇〇七噸	前年同月に比し一、四六〇(九割五分)增
	東清線發	六九	同　九割分增
	合計	三、〇七六	同　九割分增
局線發	南滿線發	三、三八〇	同　三割五分減
	東清線發	五一三	同　十三割分減
	合計	三、八九三	同　三割分減
總計		六、九六九	同　七分減

にして院線發滿洲貨物は其輸送數量三千七噸にして前年同月に比較し一千四百六十噸(九割五分)を增加せり這は全く滿洲各地に於ける日貨排斥が需要期に入ると共に漸次終熄し八月中旬以來輸送俄に增大し十月に入り更に一層の活躍を呈したるに因る輸送品種の主なるものは綿絲布にして綿布は院線發輸送貨物の五割七分又綿絲は八分を占む之を前年同月に比すれば綿布は六噸(二分)を減退せしも綿絲は七百九十二噸(八割)を增加し排貨打擊甚だしかりし六七月に於ける輸送數量に比すれば三倍強に當る盛況を呈せりと

◎鐵道十月輸送

鐵道局調査に依る十月中に於ける運輸成績を聞くに本月は上中下旬共共進會に關する輸送ありたるを以て旅客、貨物共昨年同期に比し多大の增加を示せり今其概況を示さんに乘車人員五十四萬六百十七人小手荷物斤量百二十二萬七千百七十三斤貨物噸數十三萬七千四百四十四噸にして之を前年同期に比較するときは乘車人員十萬六千七百六十三人を小手荷物斤量十三萬八百四十五斤を貨物噸數八千九百七十二噸の何れも激增を示せり而して之が運輸總收入は八十萬八千九百九十四圓にして內貨車收入三十五萬七千五百四十五圓客車收入四十五萬一千四百四十九圓なるが之を前年同期に比較するに貨車收入に於いて九萬六百五十四圓を又客車收入に於て十三萬四千五百五十三圓の增收ありたるを以て合計二十二萬五千二百七圓の增收なり尙一日一哩平均は二十五圓九十三錢にして六十八錢の增收あり

問題は唯々時期而已

支那鐵道顧問　平井晴二郎

帝政問題や共和問題が八ケ敷しいとは言ふもの、矢つ張り支那人は支那人の本性は捨て得ない。支那人が政治よりも宗教よりも道德よりも尙一步進んで言へば時に其生命よりも大事にしてゐるものは金だ、金さへあれば天下國家はどうなつてもいゝ。支那の上流社會は非常に賭博が好きで閑さへあれば賭博を爭つてゐる。否や閑さへあればと云ふよりも其相間々々に仕事をしてると云つた方がいゝかも知れない。彼等は其樣にして

▲帝政問題を擲出

したのだ。然も此帝政問題たるや決して支那四百餘州の聲だとは言へない袁派の一團が主唱し附近を買收し口說き落さうとしてる迄の事だ。一體に事大思想の發達した支那の國民は現に兵馬の權を掌握したる袁總統の爲めに唱へられる帝政論に面と向つて反對し得る程の意氣のある一人者がない。例へば段祺瑞の如き徐世昌の如き趙爾巽の如き嘗ては肩を並べ膝を交へてゐた袁世凱氏が獨り九五の位に就き自分等は其前に拜跪しなければならないと云ふが如き事は有り得べからざる屈辱として既に職を退いたが恁の如きは聊か見るべき處がある譯だ而して大多數は權柄に迎合し假令內心反意ありとするも表面のみは御無理御尤もと蹤を合せてゐる、故に日本からの帝政延期の警告に接して反對者は勿論の事贊成者と雖も右の表面的の連中は

▲心中竊かに快し

とした譯だらう。予が北京を立つたのは無論日本からの警告が行つた後であつたが北京の表面は更に此警告の影響とも見るべき事はなかつた。有つても出させはしない譯だが先づ多少なりと人民の聲の代表たるべき新聞等は殆んど袁總統の御用だし各地の代表が總て全會一致帝政を即決し袁皇帝推戴を是認する樣に贊否は有つても無くても表面上は總て權威者の爲すがままに贊成した譯だ。そして日本の警告に對する北京政府の回答は『國民の輿論の既に己に動かすべからざるを唯一理由として來たので旨あつて豫想して居た通りの解答だ。恁くて表面上暫時久的の二三の擬阻もあつたが後に袁世凱氏の帝位に接衞が豫定の順序である。袁世凱氏が帝位に陞る事と帝政が即決せらるゝとも延期せらるゝとも避くべからざる事である結果は

▲確かに騷擾だ

帝政成らば革命黨、宗社黨の各反對者は一連となつて各地に蜂起する事が明かであると共に若し帝政が延期せられるとすれば袁氏一派の煽動に基いた騷擾が起るのも明かだ一昨年革命の當時も革命の假面を被つて騷亂をなさしめ一時にして袁氏の手に握つて斷定し功を內外に誇示する——此麼芝居は平氣でやるのだから今度にしても無論其の事は豫期せざるを得ない事だ。果して然りとすれば支那目下の帝政問題は時日の問題だ。然して成るも騷擾成らぬも騷擾は免れ難い。此騷擾に對して日本の態度は怎麼に現出するか、是れこそは最も

▲注意すべき問題

として我々に殘されてある。何?鐵道?鐵道など此場合問題になる筈がない無論お休みだ。然して彼の廣漠無際涯の支那大陸に予の仕事が無くなつた時乃ち鐵道縱橫に蜒々した時こそは支那は恐るべき國となるのだ

◎沿岸標識實況

朝鮮現在の海岸線は島嶼共に算し八千四百五十哩あり而して內地は樺太を包容して一萬四千二百八十五哩にして朝鮮は面積の三、七の割合となり內地は六、三の割合なりと云ふが今此の八千四百五十哩の朝鮮沿岸に於る標識の實狀を聞くに此の八千四百五十哩の延線に對して挂燈白晝標及び挂燈立標の現在數は百十九あり尙此他に雨及び霧に對する所謂霧警備と稱するもの十七あり合計百三十六あり然れども半島沿岸航路の擴張に連れて現在の設置數及び位置は最も必要なるもののみに止まれば將來增加する必要あり當局に於ては急設の豫定を百十三個選定せりとの由なるが此の內五十個所は時勢の推移上增設せざる可らざるものにして此れが設置工事經費は六十萬圓を要す可しと

◎京畿勤儉貯蓄狀況

京畿道管內に於ける勤儉貯蓄狀況は七月末現在に於ては勤儉組合團體數三百五十六にして此組合員數九萬四千八百八十九人あり而して貯金額十七萬九千九百四十六圓三十三錢にして拂戾額は六萬八千百十四圓八十二錢二厘ありしと

◎京畿貯蓄物品調查

京畿道管內に於ける加平、驪州、利川、廣州、龍仁、安城、振威、富川、江華、金浦、坡州、開城の十二郡のみが貯蓄現品を藏し居れるが最近の調查即ち本年七月末に於ける各貯蓄品高を聞くに籾三萬一千三百九石七斗六升餘米七百十六石八斗五升餘大麥六百九十八石二斗六升餘粟四斗餘大豆三石二斗餘小豆八升餘稗三石九斗餘玉蜀黍三斗三升餘繩一萬五千百七十二把筵百五十二枚叺六個なりと

◎十月鐵道倉庫狀況

鐵道局調查に依る鐵道倉庫に於ける十月中の成績を見るに慶山外十九箇所の倉庫入庫數量千百九十六噸出庫千六百七十噸にして之を前年同期に比較するに入庫に於て八百二十四噸出庫七百七噸を增加せり而して之が收入は五百九十八圓十七錢にして內倉敷料五百八十三圓八十二錢雜收入十四圓三十五錢前年に比し六十二圓九十五錢の減收なりと

◎京畿道畜牛調查

京畿道最近の畜牛調查を聞くに但し府を除き總數十萬六千零五頭にして此內所有牛六萬二千六頭にして管理牛は四萬三千九百九十九頭なりと而して生產數牝牛一萬八百五十七頭牡牛八千八百七十二頭なり之れを昨年十二月末現在に對比するに四千六百九十七頭を增加し更に五ケ年前に於ける五萬一千二十三頭に比較すれば五萬四千九百八十二頭を增加し尙ほ併合當時農家百戶に對して三十頭當りなりしに比すれば現在にては百戶に對し四十五頭當となりて十五頭を增加せり

◎海事水產博覽會

帝國海軍協會及び大日本水產會聯合の上大正五年三月一日より四月二十九日迄上野不忍池畔勸業協會陳列館內に海事水產博覽會を開催する事に決し總督府にも出品方を交涉し來れりと

◎軍醫分擔野外演習

第九師團軍醫部にては來る十七日より二十日迄四日間の豫定にて平壤附近に於て軍醫分擔野外演習を施行する由にて之が統裁官は軍醫部長一等軍醫正高橋勝彥氏なりと

◎賣約品引渡期日

共進會出品中の賣約品引渡しは十一月三日より七日までの間にて尤も十日迄は有效なるも七日以後は其の引取手續面倒なるに就き成るべく早く七日までに引取るべしと尙ほ參考館中の陳列品は內地出品人の申出により來る六日より大割引にて賣却すべく希望者は景福宮東側なる建春門より入場すべしと

◎北鮮各部隊長歸任

師團長會議列席の爲め入京中の北鮮部隊に於ける各團隊長梅津步兵大佐、太田騎砲兵大佐、高橋工兵中佐、王兵小佐は何れも四日朝九時三十三分龍山發列車にて元山に向け出發せり

◎京城府事務官任用

京城府事務官として現在の石原事務官の外に一名の事務官を加ふることゝなり忠淸南道財務部勸務道書記(一級)北村健吉氏任命され不日著任の筈なり

人事消息

▲兒玉秀雄伯(總務局長)　御大典參列の爲め五日朝出發東上

▲持地局長、關屋局長、小松書記官長　同上

▲上林敬二郎氏(山林課長)　同上

▲李完用伯、朴齊純子　同上

▲松永道長官、向井平壤覆審法院檢事長　同上

▲趙羲聞氏(黃海道長官)　四日入京不知火旅館へ投宿

▲桑原八司氏(咸鏡北道長官)　同巴城館へ

▲ビレンコー氏(露國陸軍大尉)▲ホボツスキー氏(同上)▲エーアール、タイゴール氏(英國鑛山業)▲ロバート氏(英國鑛山業)　四日夜入京朝鮮ホテルへ

商況

大阪株式特電

鐘淵紡績	一二一、九〇	
同　新株	九四、一〇	
東洋紡績	七〇、〇〇	
大阪商船	八七、五〇	
日本郵船	一一六、三〇	
大阪米穀	[illegible]	
十一月限	一二七、九〇	一二八、〇〇
十二月限	一二八、九〇	一二八、七〇
一月限	一二九、六〇	一二九、七〇
[illegible]	一二一、一〇	一二〇、九〇

大阪期米特電（四日）

▲後場　[illegible]

▲本日の正物界

[illegible]

四日の一月限　後場寄付　[illegible]九圓二十七錢

十一月限	六千四百石
十二月限	二萬八千六百五十石
一月限	二萬六千八百五十石

朝鮮寫眞畫報　共進會記念號下卷　十五日發行

朝鮮唯一絕好の記念品として好評嘖々たりし共進會記念號上卷(五十錢)は既に賣切再版殘品壹千部に限り特價四拾錢(送料二錢)にて差上ます　一部四拾錢　郵稅二錢

▽本誌會費一ケ月參拾錢送料六錢▽共進會記念號下卷は四拾錢なるも上卷と同じく會員には[illegible]

發行所　京城大和町一丁目四十八　電話二四二九　振替二五六五　朝鮮寫眞通信社

南大門內に當行派出所を設置し十一月一日より預金貸金爲替等一般銀行業務を確實親切に取扱申候

株式會社　漢城銀行　南大門通一丁目十四番地　電話四六番　振替貯金口座二一〇五番

株式會社　漢城銀行南大門派出所　南大門通四丁目五十四番地　電話一九一番

新天地

口繪　□御大典[illegible]

○萬古仰天皇　社長

○皇位の繼承ト即位踐祚　法學博士　清水澄

御大典奉祝の意義……文學博士　建部遯吾

□數字に現はれたる朝鮮經濟……□大同江聯絡問題

○朝鮮の治績と滿蒙の經營……貴族院議員　仲小路廉

□御大典記念と公孫樹　□西鮮時事漫評　□織物業者の見たる朝鮮……田內榮三郎　□京城風聞記　□世界の珍船　□元山の海產物　□滿洲走まくり　□大連實業界現勢

○朝鮮に徵兵令を布け……貴族院議員　鎌田榮吉

△朝鮮は支那より有望也　內務省拓殖局長　赤池濃

△滿蒙開發と通信業　遞信省通信局長　田中次郎

冷言熱罵

○總督政治と滿蒙貨幣統一……男爵　高橋是清

△大倉組の朝鮮經營……大倉喜八郎

朝鮮の陶磁器業……森勇三郎

△御即位式の意義……文學博士　萩野由之

□朝鮮經濟界の一大損失……水原鮮銀理事　□疑雲大連市を閉す　□大連訪問記　□大連埠頭の現況と不潔　□編輯餘錄　□人物評論

△全鮮に於ける御大典紀念事業

△宇惠喜醬油解散問題

△書畫の味

△京城婦人の書道

○花柳界覺帳

新しき意味の京城婦人界

△温突附家屋設計案

△季節家庭料理

○男女身上判斷　花月內小高山口太兵衞氏

京城藝妓氣質

△式部は死んだ△白水のお安物語り

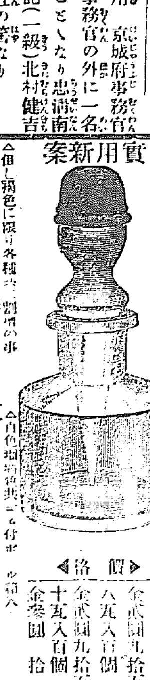
△唾棄すべき興行界の弊風

△松旭齋天勝

購讀申込所　一冊定價廿五錢六冊一圓四十錢十二冊二圓八十錢郵稅一冊一錢五厘　京城花園町　新天地社　電話二五〇九番

◎絕對に改良したる小野式點眼壜

實用新案



特徵

一　絕對に改良したるはピペツト尖端に一致する底面に凹みを作りたるを以て微量の藥液も茲に集り一滴たも遺殘することなく全部使用するを得

二　護謨帽は從來の如く貼付の不便なく簡易に交換し得らる

三　從來の乳首付點眼瓶は使用の際尖端振動するを以て危險を避けず依て改良點眼瓶は假令患者自ら使用するも振動することなく安全に點眼し得る

四　護謨短帽を附したり

此護謨帽は耐久性原料を用ひたるを以て短時日に腐敗する事なし

見本御入用の方は郵券十錢御送附あれ全國有名の藥舖及醫療器械店にて販賣す

◀價格▶　五瓦入百個　金貳圓九拾五錢　八瓦入百個　金貳圓九拾五錢　十五瓦入百個　金參圓拾錢

△但し褐色に限り各種共二割増の事

發賣元　東京市本所區綠町四丁目三十番地　小野龜七商店　電話本所一八四六番　振替東京一二五四八番

大阪株式 神戸電鐵 大阪電鐵 和歌山電 有馬電鐵 七〇〇 五三五〇 大阪三品 四日前場 九月限 一二七二〇 一二七二〇

寄付 高値 安値 引け 一三〇〇 一三〇〇二 一三〇〇〇 一三二〇〇 一三二〇〇 一三一〇五 一三一二〇 一三六二 一三六五 一三五八 一三六五

仁川米豆取引所 ▲四日後場 大阪前引後寄共米穀高勢前場不勢に十五圓二十錢より三十錢と跌れ二十九錢二十七錢と寄付後...向ひたるも六錢を辿りたる折柄本年の邀作は豊因する者ならん然るに依然當者に仲力鈍き氣があるから大阪の品薄に比し大に保ち居る者にて、こそ大阪は四圓七八十錢にて小ふ大下相と...

▲四日後場 中限◎九圓二十九錢◎三十錢 先限◎九圓二十七錢◎二十錢六 九錢五十錢二十九錢八錢二十九錢八錢九錢

平均値段 出來高 一節 九千二百五十石 二節 九圓二十六錢 三節 九圓二十八錢 四節 九圓十九錢

◉一人も漏るゝもの莫れ 府民萬歳奉唱の時

京城府尹 金谷充氏謹話

御大典を奉祝するに就ても其方法に於て物質的なると精神的なるとの二方面があると思ふ、植樹をするとか記念貯金を始めるとか或は

■其他の記念事業を起すなどと云ふことは其前者に屬すべきものであつて吾等臣民たる者が忠君愛國の赤誠を披瀝して御大儀を奉祝し又は衷心の歡を萬歳の聲に罩めて奉唱すると云ふが如きは後者に屬するものである、然らば此際京城府民は如何なる方法と精神とを以て御大典に臨む可きであらうか、夫れには目下準備中なる奉祝會に於て

■大體決定されて居るのであるが今回の奉祝會に當り府民一般と稱するは單に内鮮人のみを指したるにあらずして苟くも吾帝國の領土に在住して居る者は何國人たるを論せず一樣に奉祝す可きものであると云ふ意味を此『府民一般』と云ふ文字に包含させてあるのである故にある十日午後三時半

■勤政殿の奉祝會 十七日午後一時半の慶會樓の奉祝宴會等には萬障を排して一人たりとも多數の人々が參集して欲しいのである又市中に於て催さるゝ各種の餘興物等十日より十七日に亘る期間に於て吾等國民は滿腔の祝意を表するのであるが自分の希望としては徒らに形式に流れさせたくない總ての點に於て誠意誠心

■眞心より祝意を表したいと思ふ猶ほ出來得べくんば之れを機會として永續的の府民の良習慣を作りたいと思ふ例へば十日の午後三時半と云ふ萬歳奉唱の時間の如きは一分一秒の差を許さないのであるから當日は必ず一人の遲刻者も無いと信ずるのであるが其時間を嚴守すると云ふ樣な良習慣を御大典奉祝の記念として永續したいと思つて居るので

◉松飾は中止 京城府の御大典奉祝委員會

御大典準備に關する各種團體代表者及び町總代委員の打合會は四日午後二時半より開始されたるが來會者は五十餘名にして金谷府尹より大略奉祝の方法に就て說明したるが其内容は三日夕刊既報のものと相違なきも學校聯合提灯行列は十六日を十五日にしたると松飾りとして五萬餘戸に無償配布の筈なりし門松は都合により中止したるとの二項を變更したり尚ほ今回の奉祝費用としては約三千數百圓を計上し全部裝飾設備の費用として使用すべきものにて十七日景福宮に於て開會の奉祝宴會には金一圓の會費を徵收して普く入會者を募集する方針なりと又各町に於て行ふ催物は成る可く至急其種類方法等を列擧したるを京城府内御大典奉祝係へ申込む可きものなるが其何種の催物たるにせよ必ず靜肅にして高尚なるものを擇びたきものなりと係員は希望し居たり

◉馬賊から惠の五十圓 不思議の命を助かつた日本青年畫家

最近靑島から歸つた某氏の土產話に耳寄な一と節がある、ツイ一週間ばかり前のこと、日本人の洋畫家某氏が靑島に來て軍政署の許可を受け地圖を借りて浮山や孤山の戰跡を寫生すべく山中の一寺院に滯在中

▽一夜突然馬賊

▽數十名の襲擊を受けたが、この洋畫家嘗て馬賊に襲はれた經驗があつたので、下手に出て憐を乞ふが上分別と思案して『自分は天津から靑島に行く者だが金がなくて困つてるから何卒お助けを乞ふ』といふと馬賊は頻りに懷中物などを調べたが幸ひ軍政署から借りた地圖は腹卷の中に在つて脊中に廻つてゐたので發見されず、馬賊はウヤ〳〵と洋畫家に欺かれて全くの旅人と考へたものか、吾々は馬賊であるがお前もソンナ事情なら氣の毒だから此處は物騷だから早く靑島の街へ行けと

▽金五十圓に名

▽刺までを添へ自分等は斯ういふ者だが今後お前が困つた時は尋ねて來い助けてやると思ひ掛けない俠氣の親切に洋畫家は萬死に一生を得たが、軍政署が其れと知り件の名刺から彼等の潜伏地が發見されたといふ滑稽事がある、馬賊といへば過般日本で捕はれた

▽馬賊の頭目天

▽鬼白龍の豪傑連は目下軍政署で取調中、其の他俘擄中の支那人馬賊八十餘名は濟南の支那官憲に引渡されたさうな

◉絞首臺上の露と消ゆ 賊魁蔡應彥悄然前非を懺悔す

既報の如く賊魁蔡應彥は去月二十九日高等法院にて上告棄却の判決あり死刑に確定せしに付き四日午後二時より平壤覆審法院三井檢事艙江典獄立會の下に平壤監獄の絞首臺に上りしが彼れは極めて溫順に全く時勢を知らざりし罪なれば死刑に遭ふも止むを得ずと悄然言ひ放ち十三分間にて絕命せり尚ほ同監獄にては三日強盜殺人犯二名四日蔡の外殺人犯一名の死刑を執行したり(平壤特電)

◉共進會と犯罪

九月十一日より十月三十一日に至る共進會期間中會場に於ての犯罪狀況を聞くに窃盜最も多く其他は拘攜詐欺橫領等なるが犯罪は內地人三十件鮮人十五件被害價格內地人二百九圓十七錢鮮人百九十三圓十三錢にて此內檢擧したるものは合計二十四件にして檢擧人員は內地人四名鮮人十六名なり之を內地の諸共進會場等の例に比較するに頗る少なく長期間に斯かる少數の犯罪は從來例を見ざる所なりと

◉京城府内の高齡者 內地同樣有難き御沙汰あらん乎

今回の御大典に際しては 聖上陛下の特別なる思召により日本全國の高齡者に對して木杯又は酒肴料を御下賜相成ることは既報の如くなるが京城府にても變に管内の內鮮人に就き府及び各警察署又は本人の申出により調査したる結果を擧ぐれば

年齡	內地人 男	內地人 女	內地人 計	朝鮮人 男	朝鮮人 女	朝鮮人 計	合計
八十歲以上	一一	三五	四六	一七六	三九三	五六九	六一五
九十歲以上	|	二	二	一四	二九	四三	四五
百歲以上	|	|	|	二	|	二	二
總計	一一	三七	四八	一九二	四二二	六一四	六六二

以上の如くにして內地人の最高齡者は九十六歲にして朝鮮人は百十四歲なりと其内內地人の住所氏名及び年齡次の如し

南米倉町一六四 加藤八重(八二)
若草町六一 松浦きよ(八二)
壽町四〇富永方 藤永きく(八二)
南山町三の六金澤方 金澤きさ(八三)
黃金町二の三三西谷方 淺野よし(八七)
新町一四の一六 安永安平(八一)
太平町通り二の三三三 與倉仙右衛門(八三)
吉野町一の一二六西田 とら(八九)
蓬萊町三の七五 與田あさ(八三)
旭町一の三五 長嶺新二郎(八九)
初音町二〇二 田邊もか(八一)
瑞穗洞三四 牛島まの(九三)
樂園洞二八四 甲田みね(八三)
鍾路一の八八 濱ます(八一)
社稷洞一三三 山本さだ(八一)
西大門町一の五八 神野行子(八一)
本町二の九七林田方
西四軒町五二 郡山ゆき(八一)
團井町一の四三 樋下田たつ(八二)
旭町一陶山方 陶山いわ(八四)
日出町一九 林田むめ(八二)
黃金町二の一六八 森本さつ(八六)
新町一六の三 兒玉はる(八七)
大和町二の八八 玉木みよ(八一)
南山町二の三 內田やす(八一)
西小門町 村谷みつ(八六)
笠井町二七〇 宇都宮喜務(八三)
花園町一〇八 山川喜平(八三)
東四軒町三六 長岡圭齋(八五)
長橋町一五 平山いく(八五)
大和町三の二 益田音次郎(八十)
明治町二の四六 日野ふじ(八三)
鍾路一の八八 竹本まき(八十)
明治町一の六一 永島ます(八一)
和泉町四の七 後藤くに(八十)
鍾路三の四九 藤巻銀藏(八十)
元町一の三六 淺野七郎兵衛(八一)
同二八 稻村すが(八十)
漢江通一五の三五 赤星ちか(八一)
二村洞 井澤さと(八一)
漢江通一六の三一五 岩本じやう(八一)
同藏道官舍三七の五 村上のか(九六)
元町二の一八 三井常右衛門(八三)
松浦四郎右衛門(八九)
黃金町一 鈴木朱乃(八十)
俵きわ(八十)
旭町二の六六 飯泉たわ(八十)

□お下髪は毒だ 少女の發育を妨ぐ

■近頃の高等女學校程度の女學生の頭髮は殆ど皆リボンです、未だ毛髮を結ぶ事も出來ない少女ならばお下げも結構ですが四年五年になつて長い髮の毛をさも邪魔さうに下げて居りますのを見ますと非衛生なのに驚きます、あれは決して氣持よくして居るので無い事は分つて居ります、お下げでなければ自分の家がさも下流な家庭と思はれはせぬかといふ虛榮の分子が含まれてゐるのは確です、御覽なさいあのてかてかと油で光つた着物の肩を

■毛髮程不潔なものは有りません毎日滲出る脂肪は入浴と共に洗ひ去られますが女の頭髮はさう度々洗ひもされず又これ程塵埃の附着し易いものはありません其不潔な長い毛髮ないかに優美だからとて我慢して下げて居るのですから十日も濟るともう羽織の肩は油でいやな光を放ち羅袢の襟許には汚い垢を留めて居ります、雜巾かけをするにも體操をするにもお下げな邪魔さうに振いやつて居る、中にはうるさいのでお下げの上へ鉢をかけて居るのも見受けます、元來お下げは外國の眞似をしたのでせうが外國人は朝夕ブラシでこすつて毛の塵埃を除きますそれに外人の毛は縮れて居りますからさうバラ〳〵にはならないリボンで飛で目に入る樣な邪魔にはならない且つ衣服は毛織物ですからさう垢も附きません

■よくお下げの娘を持つ母親などが其非を說かれても『周圍が矢張りそれですから……』と云ふ。そこでどうぞ女學校の先生方が此非を御悟り願ひたいと思ふのである、即ち女學校の一年生位は未だ毛髮の揃はない點もありませうからお下げも宜しいとして二年以上の學生になつたらば必ず髮を結ばせる樣な規則でも作つて此不自然な發育防止から救つて頂きたいと存じます、お下げの傳染を喫染するお轉婆方に斷然な皆を呈するのは嚥惡れる事でせうけれども之れは忽諸に出來ない問題です

お料理 其日〳〵

△デフロシチウ 鍋に少しの水を入れ火にかけ牛肉の細切を加へ軟かく煮て人參の亂切り玉葱の切つたのなどを加へ軟かになつてからカレー粉と鹽を混ぜて水溶したものを流し入れ終りに鹽で味をつけて下します

△甘諸蒲燒 甘諸の皮を剝いで卸し金で摺りおろしこれに葛粉を適宜に混ぜよくねつて三分位の厚さにのべて蒸籠に入れ蒸します、後取り出して程よい大さに切りこれと同じ大さに切つた海苔を切つて甘諸の上にのせすつかり甘諸に密着させます、今度はこれを串に刺して兩面に胡麻油を塗りあぶつて醬油をつけながら附け燒きにし串共皿に盛つて出します。

◉鮮婦人の窃盜 黃海道延日

郡生れ趙姓女(五三)は十月六日午前十時頃止宿中なる京城仁寺洞黃天秀方の緣側にありたる足袋三足外二點を窃取し尚翌日午後五時頃同じ黃天秀方家人の隙を窺ひ內房に這入りて小箱に納めありし現金百二十圓を窃取したること發覺し鍾路署の手に捕はれたり

滋賀大乃木餅一箱 十錢 五錢 開玄轟 京城壽館前乃木餅屋◯電二七五二番 滿鮮到る處の菓子店雜貨店にあり

◉心臟破裂で卒倒 水原生れ

當時京城南大門通三丁目居住人力車夫姜信國(三三)は三日午後七時半頃居住し居る東帳塲上なる東洋建築會社の某外國婦人が一臺の人車に曳かれ帳塲脇を上り荒りたるも勾配急なる爲め曳子は前記帳塲に居合せたる姜信に後押しを依賴し相俱に會社の前迄上りつきたる際突然卒倒して人事不省に陷りたる騷ぎに警官醫師出張

宗教界消息

▲西本願寺(永樂町) 十日御大典法會と日曜日說敎あり

▲東本願寺(倭城臺) 五日六日兩夜七時半より說敎あり

▲淨土宗別院(本町三丁目) 六日午後一時半より青年會開催

▲曹洞宗別院(若草町) 五日午後七時より達磨忌法會あり敬愛婦人會は主任留守中に就き休會

▲妙心寺(川端) 五日夜より向ふ五日間接心會開催十日より十二日迄は御大典祝賀會あり

▲日蓮宗護國寺(旭町) 十三日御會式あり

▲京城神社 十日午前十時御即位當日祭十四日午前十時大嘗祭當日祭を擧ぐ市民は萬歲奉唱前必ず參拜すべし

▲聖公會(南米倉町) 還國 東京日本聖公會神學院校長今井壽道氏の入京を機とし五日午後七時半より京城ホテルにて說敎あり猶ほ婦人會は五日午前十時より同所にて開催

「大禮奉祝」文藝募集

◎種目◎ 漢詩、俳句、短歌
◎期日◎ 八日
◎賞金◎ 各種に付一等二圓、二等五十錢、三等三十錢
◎宛名◎ 大禮奉祝文藝係として種目表記の事

◉觀世會秋季大會

京城觀世會にては來る七日午前九時より壽町松翠樓に秋季大會を開催すべく素謠仕舞等ありその番組左の如し

▲素謠 清經、松風、百萬、羽衣、隅田川、安宅、國栖、猩々▲仕舞 笠之段、放下僧、田村、八島、烏追船、籠太鼓、船辨慶、求塚、伯母ケ酒

▲番組 領政、蟬丸ム碇、吟一調、殺生石

◎系角布敎監督◎ 大谷派本願寺朝鮮布敎監督部主事系角環師は這回安東縣布敎所輪番に轉任し七日頃出發赴任す可しと

◉御大典日曆

▲二日 初酉▲六日 陛下京都行幸、東京市は東京驛に盛大の御歡送を なし奉る▲七日 日曜 新月(舊十月朔日)賢所春興殿渡御の儀▲九日東京市は上野にて數多の輕氣球を飛揚せしめ、夜は不忍池畔に祝火をなす▲十日 御即位式當日にて皇靈殿神殿に奉告の儀、賢所大前の儀、紫宸殿の儀「午後三時半日本全國民は一齊に萬歲を奉唱して曠古の大典を祝し奉る、府內一般休業、大煙花打上げ午後三時景福宮にて府民一般の奉祝式、同三時半萬歲三唱、夜花電車運轉の儀▲十一日 賢所御神樂殿並に官國幣社に勅使發遣の儀▲十二日 神宮皇靈十時京城神社祭典▲十四日 午前五日 本日より各催物開始、午後六時各學校生徒提灯行列▲十七日 午後一時半慶會樓にて府民一般の奉祝宴會、夜は漢陽公園にて煙花、市中は府民の提灯行列▲二十一日(日曜)陛下神宮に親謁の儀▲二十二日 滿月▲二十四日 陛下神武天皇山陵に親謁の儀▲二十五日 陛下明治天皇山陵に親謁の儀、庚申▲二十六日 陛下孝明天皇山陵、仁孝天皇山陵、光格天皇山陵に親謁の儀、三の酉▲二十七日 陛下東京に還幸▲二十八日 日曜、賢所溫明殿に還御の儀▲二十九日 甲子、賢所御神樂の儀▲三十日 陛下皇靈殿神殿に親謁の儀

◉遠地の大地震

仁川觀測所の地動計は十一月一日午後遠地に起れる大地震の波動を記錄したり該震動は同日午後四時二十七分零秒稍々急性の初期微動に始まり約四分二十四秒の後震動最大となり全震幅一、五粍に達したり震動は爾後漸次衰へ午後六時消滅に近づきしも同時四分に至り別個の地震の爲め再び震幅を增大し其餘波は二時間程繼續し午後九時一分に至り全く消滅に歸したり本地震な源は震動の情況に依り推算するに仁川より東方約千八百基米突(四百五十里)の地點にあり蓋し本州東方太平洋海底に起れるものならん

京日案内

◉普通 一回前金三十錢(無割引) 署名一回每に金五錢增

◉番外 一回前金六十錢(無割引) 署名一回每に金五錢增

◉有給廣告係及書籍係外交員採用 希望者履歴書携帶本人來談△京城花園町一二二△帝國圖書普及會支部 872

◉募集 市內及地方男女外交員募集破格の報酬あり內鮮人不問 京城大和町一ノ四八番鮮寫眞通信社 875

◉店員入用 齡十六歲より十八歲迄の者至急入用希望者來談あれ ○本町一丁目△織田東洋舘 860

◉生徒募集 並に裁縫短期敎授○黃金町三丁目 △シンガーミシン刺繡 △シンガーミシン裁縫院 843

◉事務員入用 齡廿歲以上能筆なる者希望者午後五時過履歷書携帶來談 ○鍾路 小林代書所 852

◉ほねつぎ うちみ、くじき治療 明治町(四ツ角を東坂上ふらんす敎會前) 荒川仁壽堂電話二五九五番 790

◎醫院讓渡し 京城市內目抜きの場所今般都合に依り至急讓渡したし希望者は京日案內係迄 ○姓名在社 876

◉菓子職人入用 希望者は至急御一報又は來談あれ 平壤南大門町一 電話七二七番 芦田商店 863

◉店員募集 廿五歲以上にて商業に經驗ある者三人入用 但し確實なる保證人を要す ○龍山榮町二七 山中 865

本町三丁目總監部通突當り 內科小兒科 產婦人科 今村醫院 電話一八三一番 867

南大門外蓬萊町鐵道踏切側 產婦人科 內科小兒科 今本醫院 電話二八五一番 863

○本月十四日正午京城ホテルに於て兵庫縣人大會を催す各位多數出席を望む 會費貳圓 申込所 ○發起人總代 白井勝悟 電一四二一 866

家傳 りん病 三日藥 婦人消渴にも特効 本町三丁目 到る所に代理店あり 五十二番地 東京救濟院京城出張所 869

眞正なる 元山牛肉 特色精肉の親玉 開店披露の爲當分大安賣出仕候 京城本町二 詰渴前 八浪精肉店出張所 870

◉募集 月五拾圓內外の收入ある高尚なる外務員數名希望者履歷書紹介書持參來談 △京城本町五丁目卅六番 ◯軍人敎育會朝鮮總支部 871

◉當店代替りの風評有之候へ共事實無根にて不相變從前通り親切丁寧に御取扱可申候(支那領事館筋) 明治町二丁目八 電話一〇九六番 ◯南質店 873

◉入用 外交兼務の事務員入用希望者は履歷書携帶來談あれ ○黃金町三丁目(安藤病院隣) ◯朝鮮研究會 874

恩給年金類立替 今般業務擴張の爲め左記處へ移轉す (黃金町通櫻井町へ入る西四ツ角) 長電話一一三一番 △博多屋本店 856

◉朝鮮語科 新學期 三ケ月修業 ◉英語科 新學期 各級補欠 南大門通(漢城銀行向ひ)京城青年會 853

恩給年金類立替 京城永樂町一丁目四十四番地 商品陳列館前 電話八〇三番 江州屋 858

新炭 石炭 煉炭 小賣 たどん 知し大勉強 諸官衙御用達 京城本町四丁目 稻垣薪炭商店 電話二〇九三番 782

◉女事務員 年齡十六七歲より廿一二歲位迄の者二名至急入用希望者は 本町二丁目 電四一三番 カーフエ エビス 854

恩給年金類立替 京城御成町 電話二七七七番 山口屋 855

京城南大門通五 御大典奉祝用旗 代價 五十錢 廿五錢 御大典奉祝用旗發賣元 十枚以上の申込に限り送料不申受 818

皮膚病 花柳病 專門 永樂町商品陳列所坂の上 須古醫院 電話二一〇二番 802

◎恩給 年金類立替 京城本町二丁目五十三番地 京城銀行橫入 吉田屋 830

◎實用新案堅牢椅子並に防水布 ◎監獄製大鉢格安賣出 是非共一度御來店の程願上候 洋家具專業 松浦京城出張所 黃金町二長橋通角 電話二二五九番 831

內科 婦人科 ◎難症治療 京城南山町二丁目(喜久家の下) 電話 壹貳貳四番 一天堂醫院 840

引越荷物 安くて安全です 多少に不拘御用命願ます 南山町三丁目 電話二九三三 堀運送社 842

恩給年金類立替 京城若草町一丁目一〇六 井出邸内 電話二二六三番 西村商會 857

御下宿 十疊光電燈付六疊 二十圓宛(御一人 十八圓五十錢宛) 明治町一丁目(瀧川銃砲店横) 秋田屋

◉新荷着アンクル式片側懐中時計◉ 機械堅牢示針正確價格低廉實用的にして價格の低廉なる事天下無比

九形 鐵側 二圓九十五錢
六形 同 二圓八十錢
一形 同腕時計鎖付 二圓二十錢
六形 同ニッケル側 二圓六十錢
三十形 同 二圓九十錢
九形 同 三圓五十錢
六形 同(機械表示) 八圓五十錢
九形 同 八圓
八形 銀鍍金(調刻蓋) 二圓二十錢
六形 銀側 五圓二十錢
九形 同 八圓五十錢
七形 同 八圓八十錢
一形 同(銀七寶) 廿六圓五十錢
九形 同(腕時計) 十三圓八十錢
八形 金パリ(十年保險) 十八圓
十八金 二十圓
六形 同 百一圓五十錢
九形 同 百五十五圓

右は今回新着の商品にて本商會獨り之を有し他店に無き所のもの伏して直ちにお急ぎ御注文御申越願候御地方御遠隔の御注文に對しては代金引換小包郵便にて御送付申上候

時計 蓄音器、ミシン機 寫眞機 自轉車、洋酒、各國煙草 直輸入商 本店 京城本町二丁目 電話九七二番 イングレッソー商會 懐中時計及び目覺時計卸賣

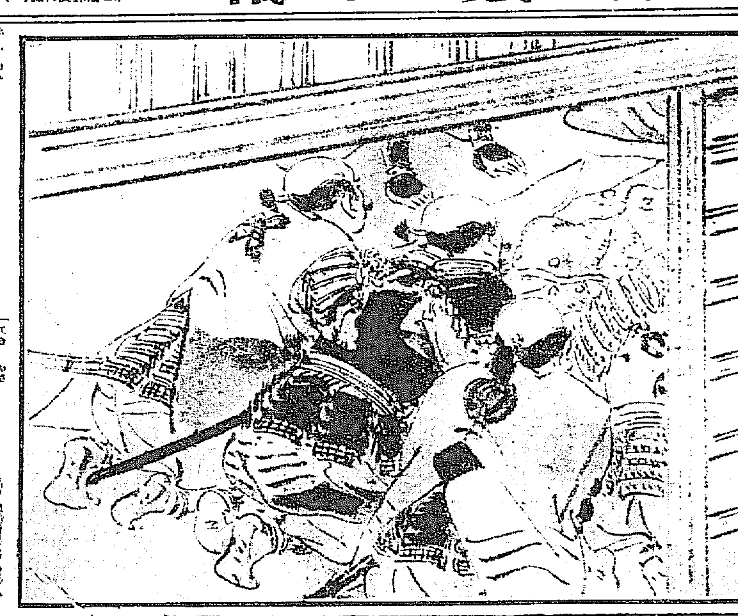
千生瓢 (32)

須藤南翠作 筒井年峰畫

對陣(七)

列座の目は一齊に其聲の主に向つた。悠然として少しく蹂り出たのを見ると、荒木が爲に幽閉せられて、兩足の自由を失つた、小寺官兵衛孝高であつた。

『勢に於ても北國方に劣り申さぬ。此柳ケ瀬を踏破つて、北庄を圍むこと、決して離儀とは存じ申さぬ。中川殿申さるゝ所、誠に勇將の壯語、我等も肯鳴り肉躍る心地致すわや。何事を措きても、御同意申したい儀ながら、味方の大事を思へば、官兵



衛異見のおざるよ』

斯う言つて清秀の方を見た、清秀の眼は熾々として、孝高を睨めてゐる。

『中川殿申さるゝ通り、味方の敵は柴田佐久間の北國勢ばかりでおざらぬ。三七殿おざる、瀧川おざる、三河の徳川殿、是も去就は相知れぬ。此戰ひいつまで續くか、將一戰にて治まるや、更に先は見え申さぬぢや。さすれば、足輕雜兵の末に至るまで誠に大切の時おざる。今眼前の敵を破ること、確に勝算はおざるかなれど、是には味方の勢半以上を亡きものにせねばならぬ。こゝに勢の半を損して、北國は討ち平ぐるとも、其奥には佐々殿おざる。岐阜、蟹江に向ふ前に、此古武者に立ち對へば、新勝と申しても疲勞の軍、またもや三分一は損せねばなるまい。果は岐阜、蟹江に對ふにも、味方の不足を感ずるかも知れ申さぬ。是れ決して完全の策でないわよ』

孝高は謂ゆる戰上手である。其巧者な胸から割り出して、明かに反對するのであるから、諸將は申すも更なり、清秀も之には首肯ずには居られなかつた。

秀吉は莞爾と笑つた。

『官兵衛が算盤兵法、いつもながら緻密いぞ〳〵。さらば何として此大敵を押へるぢや』

『はゝはゝ、筑前殿賢慮の通り堅固に向城を築いて、味方の陣を嚴重に布き列ね、敵の怺へず討つて出るまで、確と押へて戰ひをせぬ事ぢや。北國熊も檻の戸を閉められては、さて何と致さうぞ』と、事もなげに言ひ放つた。

『併しおや、官兵衛、一月二月と對陣に日を送れば、今瀬兵衛言はれた如く、士氣が弛むわ、勇氣が撓むわ、全軍惰氣の生じた時、敵に虛を衝かれたら何とする』

秀吉は試すやうに言を挾むだ。

『我が勢惰氣の生ずる時は、敵も惰氣が生ずるが定。北國勢も味方と同じ人間おざるわ。其までもない。味方の陣の固るを待つて、御身濃州へ旗を返され、岐阜の城を落させられい。岐阜が落つれば、蟹江が何とし支へ申さう。さすれば、其新勝の大兵を擧げて、此柳ケ瀬に向ふ時は柴田の大鬼、佐久間の小鬼、何として勝算のおざらうぞ。疾う陣形のお指揮なされ』

官兵衛孝高は、秀吉の腹案を看破つて、明かに其意圖を言ひ表らしたのであつた。秀吉は莞爾として微笑んだ。

『小寺殿申さるゝ所、髓に萬勝の方略とある、最早軍議も是までおざらう』

丹羽五郎左衛門尉長秀、一座を代表して斯う言つたので、秀吉も首肯いた。

『丹羽殿仰せらるゝ通り、軍議の定つた上は、不佞より陣地の指揮致すであらう、各承り候へ』

而して地圖を座上に展べた。是は長濱在城の時に製したもので、巖石竹木の數までも、其槪要を知るべき詳密なものであつた。秀吉は諸將と其圖を閱んで

『故伊賀守の人數の籠つた天神山は十町ばかり出過て居る、是は引退けて、本山に要害を築かう、倘左禰山も丈夫に築いて、こゝは堀久太郎守られへ、賤ケ嶽尾崎の地所は、中川瀬兵衛固められへ、其尾七八丁を隔てた岩崎山は、高山右近を籠め置く、賤ケ嶽の城は美濃守、內桑山は修理亮、田上山は舍弟小一郎の本陣とせよ、蜂須賀彦右衛門尉、生駒甚助、神子田半左衛門尉、赤松彌三郎、明石與四郎、小寺官兵衛は、一萬五千を以て遊軍となり、木本邊に陣を取つて、弱き方に加勢せられい、海津口は丹羽殿の一萬餘騎に、長岡與一郎の三千を加へて嚴重に守られへ』と、一々指點して、其部署を命じたのである。

米國ビクター・トラップ會社製
獸類捕獲器
壹個 壹圓五十錢
狐、狸、ヌクデ取器械

仁川濱町 苗木草花販賣所 京日仁川代理部

御小賣及
京城本町二丁目 電話2380 振替2060

決して躊躇するな 唯一枚のハガキで分る
肺病の全治と特效藥

玆に東京呉服町順天堂藥院安原氏發見の肺病靈藥は名高き內科醫學士海輪十二先生、醫學士本多元俊先生の諸大家が肺病の藥劑として實際其効顯あるは本藥であると斷言せられ且之を實驗して其効力の卓絶なるを確證せられたとの事は東京大阪の各大新聞に報告せられし通りであるが吾人は悲觀せる同病者の爲氏の悲痛なる全快談を發表して諸者の參考とするのである

氏は語て曰く私は嘗て此恐ろし肺病に罹り有ゆる藥劑を以て治療して見たが更に効がないので悲嘆の月日を送りつゝありしが私は如何にしても此病氣を治癒さうとの一念から極力治療し又賞弟等專門醫の助けもあり嘗て苦心研究の末始めて發見した不思議の靈藥の奇効と獨特の療法に依り迚も治らんものと思つて居つた此病氣が全快した時の嬉しさ何に譬ふる事も出來ない位であつた此時始めて世の同病者に對し同情を頒たいと決心したのである夫からと云ふものは同病者と聞くごとに此靈藥を勸め隨分多くの人に應用した處今日迄に全治輕快し感謝狀を送られた人は幾千人であるか分らん此上私の希望と云つたら世間廣く津々浦々に至るまで私同樣不幸にして此病氣に罹り誇大の廣告に迷ひつまらん藥を用ひて居る患者に自分の全快療法を知らせ悅びを分ちたいのであるが何分此病氣に罹ると彼れが善からう是が善いと色々の治療に迷はれるので誠に困ると語られた……

■肺病の治療無代の書物

無代進呈 第五十五版
伯爵 東郷閣下御題字 伯爵 久我閣下御題字 伯爵 土方閣下御題字
肺病患者寶典
醫學士 海輪先生確證 醫學士 本多先生確證

■此本を貰ひ直治されよ■此特効藥の發見者たる安原氏は大書冊を無代進本するとの事であるから希望者は東京日本橋呉服町順天堂藥院安原尚親氏に就て實談を聞かれ遠方の人はハガキにて申込書物の送附を受けられたら非常の御參考になるであらう……SU生

本劑は逆上を引下げ胸の痞を開き大小便の通じを快くし血行を良くし海撥(佐にひゐ、しつ、つき)肺病其他皮膚一切の諸病即氣水腫症等によし

藥價 中週分七ふく入 金拾五錢 壹週分十四ふく入 金參拾錢 三週分四十二ふく入 金八拾錢 五週分七十ふく入 金壹圓廿錢
丸藥 金拾五錢 金貳拾四錢 金六拾五錢 金壹圓

七ふく人參

本家 大阪高津表門筋松屋町西 七ふくや 伊藤長兵衛 振替大阪九七三番 電話南七五九番

資本金 壹百萬圓
政府貸下金 三十二萬九千二百圓
農工債券發行高 百參拾萬圓

株式會社 漢湖農工銀行
京城南大門通三丁目
銀行長 白完爀
支配人 遠山熙
電話 五二四番 五二七番 五五五番

支店 開城、春川、江景、太田、公州、鐵原、淸州、忠州、論山

當銀行は普通銀行業務も確實親切に御取扱申候

下痢、腹痛にはヘルプが一番よい

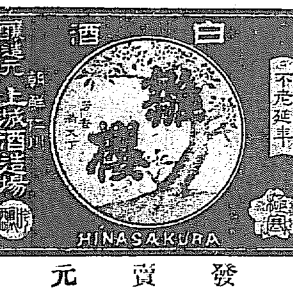
秋口の下痢病は黴菌性の者多し故に止瀉藥には殺菌力を有する藥劑ならざる可らず
柏村博士のヘルプは此點を考慮し調劑せし者なれば從來の止瀉藥になき殺菌、防腐の作用を具備す

定價 二十錢 三十錢
旅行携帶用 五十錢
家庭用 一圓 二圓五十錢

主治 食傷●食過●時候あたり●水あたり●寢冷●冷腹●下痢腹痛●吐瀉●急腹
効能 等腸胃の故障より起る瓦斯を止め■腸加答兒■胃加答兒を治す

本舖 東京日本橋本銀町三 振替東京八六四番 津村敬天堂
●取次は全國到る處の藥店にあり

御大典奉祝 御用酒
白酒 黑酒



發賣元 上城酒造場
仁川花町二丁目 電話七五八番 振替京城八二八番

兩京去留誌

簡淨疎宕なる山川人物の描寫 明快透徹なる朝鮮側面の觀察

蘇峰學人著 平福百穗、山下鈞、鶴田與村、柳田謙吉、前川千帆(五氏畫)

本書は著者が朝鮮併合(明治四十三年九月)より今年夏に至る迄、五箇年に亙り屢ゝ東京、京城間往來の際に成りたる文章を收輯したるものなり。著者の兩京間を往來するや其の幾回なるかを知らず。而も其の往來毎に感興愈ゝ新鮮にして、其の秀警の觀察と獨特の靈筆を揮つて兩京間の天然と人事を叙するや、雲烟飛動し人物躍如たるもの固より其の所なり。而して記する所單に兩京に止らず、或は途中過眼の光景を記し或は觸目の偶感を叙す。不用意の文字眞情流露し、而も簡淨疎宕小品の妙を極む。特に『雲養集を讀む』の一文は、朝鮮の碩儒金允植子の人物と文藻を解剖して剩す所なく、『朝鮮統治の要義』は五十頁に亙る長文にして、著者の朝鮮統治に對する經綸を吐露して萬丈の光焔を揚ぐ。加之、平福百穗氏を初め諸畫伯の繪畫は皆實境に臨んで描く所に係り、啁々眞に逼るの妙あり。其他各地の風景、名流の筆蹟等悉く本書の爲に特に撮影し、若しくは著者の爲に特に揮毫せられたるものにして、凡て三十二葉の多きに上り、製版印刷倶に異曲同巧の出來榮を呈し、著者の文章と對照して興味津々たり。裝釘は總クロース上製となし、表紙に朝鮮の古甎を打出し、表題は金文字を以て唐太宗帝書の古拓本より摘出したるものを用ふ。體裁淸雅高尚にして眞に几上の淸賞に堪へたり。今や節新秋に入りて燈火親む可し、請ふ幸ひに愛讀を賜へ。

記事內容一斑

◎沿道所見 新橋より京城(一…七)◎短信三片 途中歡迎の諸友▲朝鮮晴の好天氣▲今朝懷色淸南山◎朝鮮各地の觀察◎秋晴一百五十里 光州の一瞥▲六甲山麓の理想郷▲風致俗に背し▲奈良一日の清遊▲京城愛吾廬より▲萬戶擣衣聲▲北漢山に上るの記(一…三)▲石坡亭の雅會▲深秋の總督邸▲京元線の試乘◎一路寒風吹鬢霜▲京都より◎一年兩度の櫻花▲雨中の大運動會▲內地化したる氣候▲釜山より大阪▲六甲山と弟海◎一年の好季節 母校と東山▲桃山御陵參拜▲汽車中の立談▲一年の好季節▲十三日夜の總督邸▲朝鮮の秋色▲仁川沖魚釣の記▲明治天皇紀念祭▲十一月三日の夜▲京城に於ける天長節▲京城道中の紅葉▲京城雜信◎愛吾廬雜信◎訪人訪書の旅行◎趁熱旅行▲漢江の魚と人◎雙京往還 炎味大暑▲北斯步の家庭▲京城より▲往來二千日▲愛吾廬記(子爵金允植記)◎雲養集を讀む(一…三)◎朝鮮統治の要義(一…十)合計十五篇 一百三章 二百七十四頁

繪畫寫眞目次

◎海峽航行中の著者(三色版)◎在慶州新羅武烈大王陵碑龜趺(寫眞版)◎北漢山(ジンク版)◎洗劍亭(ジンク版)◎漢江(ジンク版)◎千尋井德榮氏別墅碧樹山莊より南山を望む(三色版)◎愛吾廬に於ける冷淡の生活(寫眞版)◎愛吾廬より仁王山を望む(三色版)◎淸凉里(木版)◎昌德宮秘苑(木版)◎山縣總監の自書自贊(寫眞版)◎朝鮮街(木版)◎明石中將の自書自贊(寫眞版)◎鮮人の天長節(ジンク版)◎京城獨立門畔城壁上の大銀杏樹(寫眞版)◎獨立門外殿寺の五輪塔と著者(寫眞版)◎諸名流筆蹟(寫眞版)◎鮮人の家屋(寫眞版)◎鮮婦洗紗浦(ジンク版)◎太華亭(ジンク版)◎野田大塊翁の自書自贊(寫眞版)◎鮮人の船(寫眞版)◎愛吾廬同人庭前の小集(寫眞版)◎子爵金允植氏の德富氏送序の筆蹟(寫眞版)◎故伊藤公自筆南山脚下の詩(寫眞版)◎朝鮮總督官邸に於ける寺內伯(寫眞版)◎寺內伯書故伊藤公南山脚下の詩及び跋語(寫眞版)◎寺內伯書和歌(寫眞版)◎寺內伯書鴨綠江鐵橋落成の詩(寫眞版)◎寺內伯書早發の詩(寫眞版)◎寺內伯書慶州懷古及び乙卯誕辰の詩(寫眞版)合計三十二種

總クロース上製函入 定價金壹圓五拾錢

發行所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

大正四年一 汽車時間

京釜線 [illegible]

湖南線 [illegible]

京義線 [illegible]

京元線 [illegible]